

令和8年度

市町村職員研修実施計画



新潟県自治会館

新潟県市町村職員研修所

新潟県市町村総合事務組合

は じ め に

加速する少子高齢化・生産年齢人口の減少に加え、人員確保の困難さが深刻化するなか、大規模災害や感染症などのリスク増大、デジタル社会の進展などにより、市町村を取り巻く環境は大きく変化し、地域社会の課題は複雑・多様化しています。

市町村は、住民に最も近い基礎自治体として、地域の実状を踏まえ、自己決定・自己責任の原則に立って、これら地域社会の課題に的確に対処していくことが求められます。

そのため、市町村においては、社会経済環境の変化を捉えてこれらの課題に主体的に対応できる広い識見と高い能力に加え、限られた定数の中で効率的かつ効果的な行政運営を担うためのデジタルリテラシーと創造性を備えた職員を育成し、確保していくことが必要不可欠になっています。

このような状況の中、デジタルトランスフォーメーション（DX）に対応できる職員の育成を目指し、生成 AI 活用研修を新設しました。また、職員の研修受講機会を確保するため、引き続きオンラインによる研修を実施します。

当研修所といたしましては、今後とも研修環境の改善を図るとともに、構成市町村等に対する研修要望調査や研修運営委員会における検討、受講者へのアンケート結果等を通じて必要な見直しを行い、市町村のニーズに応える研修を提供し、市町村職員の能力の向上に資することを目指してまいります。

令和 8 年 4 月

新潟県市町村総合事務組合
新潟県市町村職員研修所長

目 次

I 令和8年度市町村職員研修実施計画

1 研修概要	2
2 研修体系	4
3 研修日程	6

II 令和8年度市町村職員研修実施科目

1 階層別研修	9
① 新採用職員研修	10
② 一般職員研修第1部	12
③ 一般職員研修第2部	14
④ 技能労務職員研修	16
2 専門研修	17
① 税務事務基礎研修	18
② 固定資産税事務基礎研修（課税）	19
③ 固定資産税事務基礎研修（家屋評価（木造中心））	20
④ 固定資産税事務基礎研修（土地評価）	21
⑤ 市町村民税事務基礎研修（個人）	22
⑥ 市町村民税事務基礎研修（法人）	23
⑦ 徴収事務基礎研修	24
⑧ 財務事務基礎研修	25
⑨ 契約事務基礎研修	26
⑩ 簿記基礎研修	27
⑪ 地方公会計事務基礎研修	28
⑫ 給与事務基礎研修	29
⑬ 人事評価者基礎研修	30
⑭ 説明力向上研修	31
⑮ クレーム対応力向上研修	32
⑯ ファシリテーター養成研修	33
⑰ 保育士、幼稚園教諭のためのコミュニケーション力向上研修	34
⑱ 業務改善研修	35
⑲ データ活用力向上研修	36
⑳ ハラスメント防止研修	37
㉑ 民法基礎研修（総則、物権、債権、家族）	38
㉒ 法制執務研修	39
㉓ ロジカルシンキング研修	40
㉔ 発想力・企画力向上研修	41

②⑤	マニュアル作成研修	42
②⑥	タイムマネジメント研修	43
②⑦	事務ミス防止研修	44
②⑧	接遇マナー基礎研修	45
②⑨	ＯＪＴ基礎研修	46
③⑩	生成ＡＩ活用研修	47
Ⅲ 研修案内		
1	研修会場等案内	49
(1)	上越市教育プラザ	49
(2)	上越文化会館	49
(3)	和同新産センタービル	49
(4)	新潟県自治会館	50
①	休憩室の案内	50
②	自治会館食堂の案内	51
③	自治会館附属駐車場の案内	52
2	留意事項	53
(1)	事務担当者の留意事項	53
(2)	受講者の留意事項	54
Ⅳ 研修ビデオ教材		
1	ビデオ教材の一覧	57
2	ビデオ教材の貸出方法	68
Ⅴ 令和 7 年度市町村職員研修実施状況		
1	総括表	71
2	団体別修了者数内訳表	72

I 令和 8 年度市町村職員研修実施計画

I 令和 8 年度市町村職員研修実施計画

1 研修概要

今年度は、階層別研修については新採用職員研修の科目変更、専門研修については 1 課程を追加し、徴収事務研修の講義形式をオンラインに変更する見直しを行いました。

(1) 階層別研修

新規採用職員から職員経験年数おおむね 12 年の職員までを対象に各階層において必要とされる業務遂行上の知識及び技能を習得するため、次の 4 課程の研修を実施します。

- ① 新採用職員研修
- ② 一般職員研修第 1 部
- ③ 一般職員研修第 2 部
- ④ 技能労務職員研修

(2) 専門研修

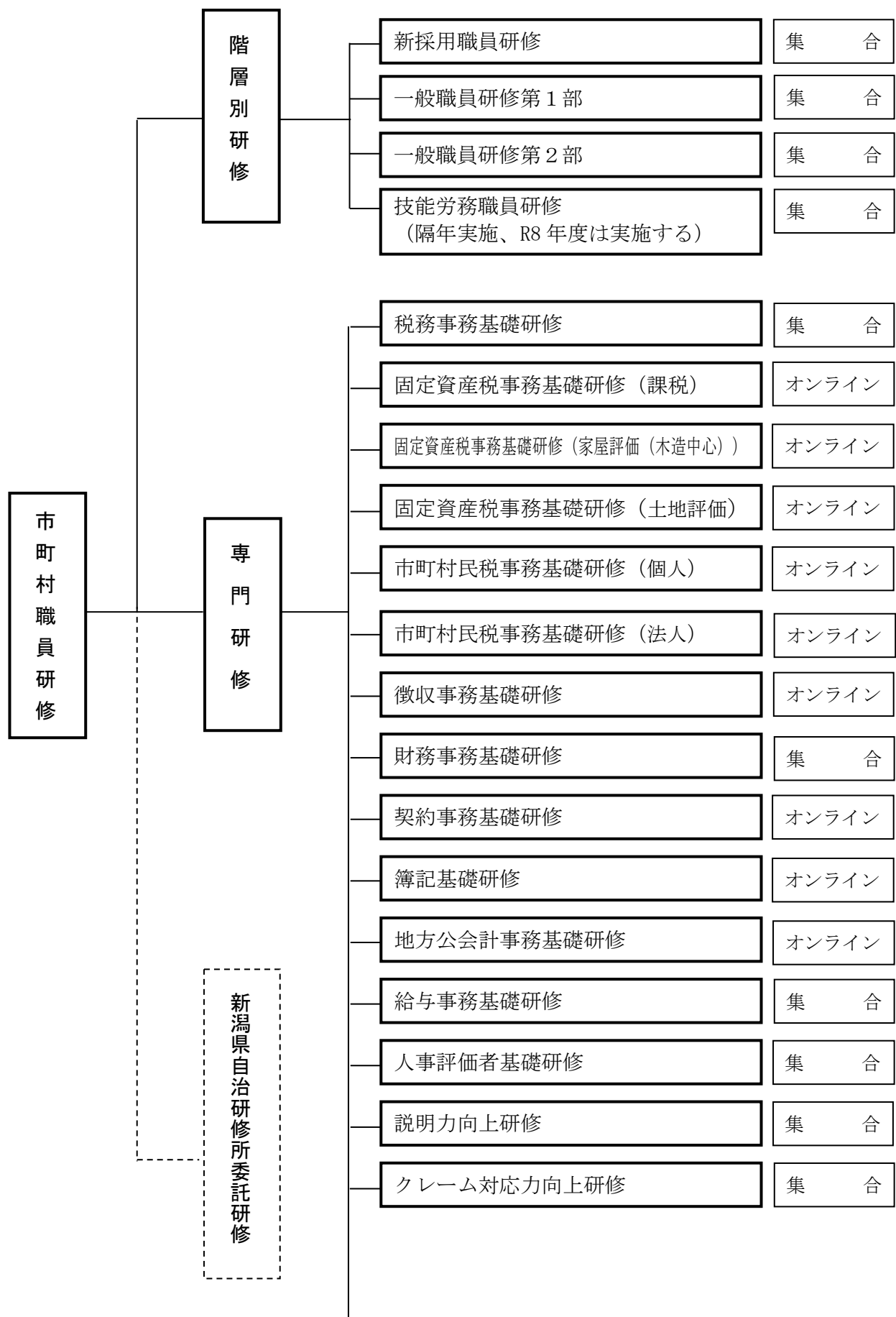
専門研修は行政実務に即した知識及び技能を習得し、実務遂行の能力を養成すること及び専門的な能力を開発し、職業人としての資質を向上させることを目的として次の 30 課程の研修を実施します。

- ① 税務事務基礎研修
- ② 固定資産税事務基礎研修（課税）
- ③ 固定資産税事務基礎研修（家屋評価（木造中心））
- ④ 固定資産税事務基礎研修（土地評価）
- ⑤ 市町村民税事務基礎研修（個人）
- ⑥ 市町村民税事務基礎研修（法人）
- ⑦ 徴収事務基礎研修
- ⑧ 財務事務基礎研修
- ⑨ 契約事務基礎研修
- ⑩ 簿記基礎研修
- ⑪ 地方公会計事務基礎研修
- ⑫ 給与事務基礎研修
- ⑬ 人事評価者基礎研修

- ⑭ 説明力向上研修
- ⑮ クレーム対応力向上研修
- ⑯ ファシリテーター養成研修
- ⑰ 保育士、幼稚園教諭のためのコミュニケーション力向上研修
- ⑱ 業務改善研修
- ⑲ データ活用力向上研修
- ⑳ ハラスメント防止研修
- ㉑ 民法基礎研修（総則、物権、債権、家族）
- ㉒ 法制執務研修
- ㉓ ロジカルシンキング研修
- ㉔ 発想力・企画力向上研修
- ㉕ マニュアル作成研修
- ㉖ タイムマネジメント研修
- ㉗ 事務ミス防止研修
- ㉘ 接遇マナー基礎研修
- ㉙ O J T 基礎研修
- ㉚ 生成 A I 活用研修

※ 本計画書記載の研修内容は現段階での予定であり、今後、変更となる場合があります。

2 研修体系（実線太枠：当研修所実施分）



ファシリテーター養成研修	集 合
保育士、幼稚園教諭のためのコミュニケーション力向上研修	集 合
業務改善研修	集 合
データ活用力向上研修	集 合
ハラスメント防止研修	集 合
民法基礎研修（総則、物権、債権、家族）	オンライン
法制執務研修	集 合
ロジカルシンキング研修	集 合
発想力・企画力向上研修	集 合
マニュアル作成研修	集 合
タイムマネジメント研修	オンライン
事務ミス防止研修	集 合
接遇マナー基礎研修	集 合
O J T 基礎研修	集 合
生成A I 活用研修	集 合



3 研修日程

[illegible]

※ ○印の中の数字は、回数を表します。実施回数が一回限りのものは、回数表示を省略してあります。

[illegible]

Ⅱ 令和 8 年度市町村職員研修実施科目

1 階 層 別 研 修

新採用職員研修

- ◇ね ら い
- ・職員としての自覚と意識の確立を図る。
 - ・職務遂行に必要な基礎知識、スキルを修得し、職場への適応能力を養う。
- ◇特 徴
- ・職員として必要な様々な基礎知識を学習します。
 - ・地方自治制度や地方公務員制度などを通して地方自治のしくみや地方公務員の身分などについて学習します。
- ◇対 象 者 令和8年度新規採用職員（技能労務職員を除く。） 1回：40名程度

◇実施期間・会場

回数	実施期間	会 場	
第1回	令和8年4月14日(火)～4月17日(金)	新潟県自治会館	201会議室(2階)
第2回	令和8年4月21日(火)～4月24日(金)	和同新産センタービル	大会議室(2階)
第3回	令和8年5月11日(月)～5月14日(木)	新潟県自治会館	201会議室(2階)
第4回	令和8年5月12日(火)～5月15日(金)	和同新産センタービル	大会議室(2階)
第5回	令和8年5月18日(月)～5月21日(木)	上越市教育プラザ	大会議室(3階)ほか
第6回	令和8年5月19日(火)～5月22日(金)	新潟県自治会館	201会議室(2階)
第7回	令和8年5月25日(月)～5月28日(木)	新潟県自治会館	201会議室(2階)
第8回	令和8年5月26日(火)～5月29日(金)	和同新産センタービル	大会議室(2階)

◇科目及び時間等

科 目	時間	目標・内容・期待効果
講話	1.0	市町村長の行政に対する考えを聞くことにより、職員としての心構え及びこれからの自治体や職員に求められるものについて考える。
地方財政制度	1.5	講義・演習により、地方財政制度の基礎知識を学び、地方財政について、国の財政との関係性を踏まえ理解する。
公務員倫理	3.0	講義・演習により、公務員倫理について理解する。
仕事の基本・ ビジネスマナー	6.0	講義・演習により、社会人としての基本的な心構えやマナーを習得するとともに、組織内で円滑に業務を進めるために必要なコミュニケーションや仕事の進め方を学ぶ。
地方自治制度	3.0	講義・演習により、地方自治制度の仕組みを体系的に学び、自己の果たすべき役割を認識する。
地方公務員制度	3.0	講義・演習により、公務員の責任及び権利・義務等について理解する。
文書事務	3.0	講義・演習により、公文書の取扱い、作成の基準を理解する。
健康管理	2.0	講義により、社会人としての健康管理の必要性とその実践について理解する。
合 計	22.5	

◇研修日程

	9:30	9:45	10:00	11:00	11:10	12:30	13:30	15:30	16:30
1 日目	受付	開講	講話		地方財政制度			公務員倫理	
2 日目	仕事の基本・ビジネスマナー							仕事の基本・ビジネスマナー	
3 日目	地方自治制度・地方公務員制度							地方自治制度・地方公務員制度	
4 日目	文書事務							健康管理	閉講式

◇携 行 品 筆記用具、職場で使用している名札

◇講 師

科 目	担 当 講 師			
講 話	第 1 回	阿賀町長 神田 一秋 氏	第 5 回	糸魚川市 久保田 郁夫 氏
	第 2 回	湯沢町長 田村 正幸 氏	第 6 回	聖籠町長 西脇 道夫 氏
	第 3 回	五泉市長 田邊 正幸 氏	第 7 回	三条市長 滝沢 亮 氏
	第 4 回	刈羽村長 品田 宏夫 氏	第 8 回	十日町市副市長 池田 克也 氏
地方財政制度	(株) インソース 講師 村井 淳 氏、宮谷 航平 氏			
公務員倫理	(一社) 日本経営協会 講師 定野 司 氏、山崎 浩通 氏			
仕事の基本・ビジネスマナー	(株) 話し方研究所 講師 橋本 秀雄 氏、保井 亜矢子 氏、奥村 拓真 氏			
地方自治制度・地方公務員制度	(一社) 日本経営協会 講師 澤田 千秋 氏、望月 数久 氏			
文書事務	新潟県市町村職員研修所職員			
健康管理	(一社) 日本産業カウンセラー協会 講師 須田 幸子 氏、白井 一美 氏、津寺 美佳 氏			

一般職員研修第 1 部

- ◇ね ら い ・職務上必要な基礎知識及びスキルを習得し、職務遂行能力の向上を図る。
・業務を行う上での健康対策として、心の健康管理方法を習得する。

- ◇特 徴 ・行政・技術職と専門職の受講回を分けて実施します。

行政・技術職 … 主事、主任、主査、技師、主任技師等
専門職 … 保健師、看護師、栄養士、保育士、幼稚園教諭、
社会福祉士、介護員、生活支援員、児童指導員等

- ・行政・技術職は、情報公開・個人情報保護制度、政策形成の基礎を学習します。
- ・専門職は、分かりやすい文章の書き方、カウンセリングマインド、公務員倫理を学習します。
- ・行政・技術職、専門職ともに、講演を通して自治体を取り巻く環境の変化を理解し、住民との協働について考えます。

- ◇対 象 者 職員経験年数 3 年～7 年のおおむね 25 歳の職員（技能労務職員を除く。）
1 回：40 名程度

◇実施期間・会場

回数	対象者	実施期間	会 場	
第 1 回	専門職	令和 8 年 6 月 24 日(水)～ 6 月 26 日(金)	新潟県自治会館	201会議室(2階)
第 2 回	行政・技術職	令和 8 年 7 月 1 日(水)～ 7 月 3 日(金)	新潟県自治会館	201会議室(2階)
第 3 回	行政・技術職	令和 8 年 8 月 5 日(水)～ 8 月 7 日(金)	上越文化会館	大会議室(4階)
第 4 回	行政・技術職	令和 8 年 8 月 19 日(水)～ 8 月 21 日(金)	和同新産センタービル	大会議室(2階)
第 5 回	行政・技術職	令和 8 年 9 月 30 日(水)～10 月 2 日(金)	上越文化会館	大会議室(4階)
第 6 回	行政・技術職	令和 8 年 10 月 21 日(水)～10 月 23 日(金)	和同新産センタービル	大会議室(2階)
第 7 回	行政・技術職	令和 8 年 11 月 11 日(水)～11 月 13 日(金)	新潟県自治会館	201会議室(2階)

◇科目及び時間等

対象	科 目	時間	目標・内容・期待効果
行政・ 技術職	情報公開・個人情報保護制度	3.0	情報公開及び個人情報保護制度の概要を学び、現状(事例)や今後の課題を把握する。
	政策形成の基礎	12.0	政策形成の基本的な考え方や課題の解決に向けた政策立案の手法を学ぶ。
専門職	分かりやすい文章の書き方	5.5	読みやすく、好感を持たれる文章を書くための文章構成法や言葉の選び方を学び、演習を通して総合的な文書作成能力の向上を図る。
	カウンセリングマインド	6.0	カウンセリングマインドについて学び、傾聴・受容・共感を主としたコミュニケーション能力の向上を図る。
	公務員倫理	3.0	講義・演習により、公務員倫理について理解を深める。
共通	メンタルヘルス	1.5	ストレスに関する正しい知識とその対処法を学び、心の健康管理方法について理解し、その実践方法を学ぶ。
	講 演	1.0	県内で活躍する NPO 法人等の活動を聞くことにより、住民と行政の協働について学ぶ。
合計	行政・技術職	17.5	
	専門職	17.0	

階層別研修

◇研修日程

行政・技術職

	9:30	9:45	10:00	11:25	11:35	12:30	13:30	16:30
1日目	受付	開講	メンタルヘルス		講演		情報公開・個人情報保護制度	
2日目	政策形成の基礎						政策形成の基礎	
3日目	政策形成の基礎						政策形成の基礎	閉講

専門職

	9:30	9:45	10:00	12:30	13:30	14:55	15:05	16:00	16:30
1日目	受付	開講	分かりやすい文章の書き方		分かりやすい文章の書き方				
2日目	カウンセリングマインド					カウンセリングマインド			
3日目	公務員倫理					メンタルヘルス		講演	閉講

◇携行品 筆記用具、職場で使用している名札

◇講師

対象	科目	担当講師
行政・技術職	情報公開・個人情報保護制度	第2回、第3回、第7回 新潟大学法学部 教授 今本 啓介 氏
		第4回、第5回、第6回 新潟大学法学部 准教授 宮森 征司 氏
	政策形成の基礎	(株) テラ・コーポレーション 講師 志磨 宏彦 氏
専門職	分かりやすい文章の書き方	(一財) 公共経営研究機構 講師 渡部 哲也 氏
	カウンセリングマインド	(株) 話し方研究所 主任教授 小島 健二 氏
	公務員倫理	(一財) 公共経営研究機構 講師 小川 眞澄 氏
共通	講演	第1回、第2回、第7回 新潟市市民活動支援センター運営協議会 会長 小倉 壮平 氏
		第4回、第6回 NPO法人 市民協働ネットワーク長岡 代表理事 渡辺 美子 氏
		第3回、第5回 NPO法人 かみえちご山里ファン倶楽部 理事 松川 菜々子 氏
	メンタルヘルス	(一社) 日本産業カウンセラー協会 講師 須田 幸子 氏、白井 一美 氏、津寺 美佳 氏

一般職員研修第 2 部

集 合

- ◇ね ら い ・教養を深め、中堅職員としての視野の拡大を図る。
・交渉・折衝能力を向上させ、対立局面を打開し、合意形成を図る力を養う。
- ◇特 徴 ・これからの自治体行政、経済事情、民間企業経営者等の講演により、中堅職員としての視野を広げます。
・講義、実践演習、講評解説により、他市町村等の職員と協調しながら、問題解決思考能力を高めます。
- ◇対 象 者 職員経験年数 8 年～12 年のおおむね 30 歳の職員（技能労務職員を除く。）
1 回：40 名程度

◇実施期間・会場

回数	実施期間	会 場	
第 1 回	令和 8 年 6 月 17 日(水)～ 6 月 19 日(金)	和同新産センタービル	大会議室(2階)
第 2 回	令和 8 年 7 月 29 日(水)～ 7 月 31 日(金)	和同新産センタービル	大会議室(2階)
第 3 回	令和 8 年 8 月 26 日(水)～ 8 月 28 日(金)	新潟県自治会館	201会議室(2階)
第 4 回	令和 8 年 9 月 2 日(水)～ 9 月 4 日(金)	上越文化会館	大会議室(4階)
第 5 回	令和 8 年 10 月 14 日(水)～10 月 16 日(金)	上越文化会館	大会議室(4階)
第 6 回	令和 8 年 11 月 4 日(水)～11 月 6 日(金)	新潟県自治会館	201会議室(2階)

◇科目及び時間等

科 目	時間	目標・内容・期待効果
これからの自治体行政	2.5	講義により、行政を取り巻く環境・課題の把握、今後の行政を担う自治体職員に必要な知識・視野について学ぶ。
経済事情	1.5	講義（データ分析）により、県社会経済の状況及び行政への影響を把握し、今後について考える。
講 演	1.5	県内で活躍する企業の経営者等の講演を通して、仕事に対する姿勢・進め方など行政運営のヒントを得る。
交渉力・折衝力	12.0	講義・演習により、相手と自分との対立局面を打開し、Win-Win の関係を築くための問題解決思考能力を高める。
合 計	17.5	

◇研修日程

	9:30	9:45	10:00	12:30	13:30	14:50	15:00	16:30
1 日目	受付	開講	これからの自治体行政		経済事情		講演	
2 日目	交渉力・折衝力				交渉力・折衝力			
3 日目	交渉力・折衝力				交渉力・折衝力			閉講

◇携 行 品 筆記用具、職場で使用している名札

◇講 師

科 目	担 当 講 師	
これからの自治体行政	第1回	新潟大学法学部 教授 馬場 健 氏
	第2回、第6回	新潟大学工学部 准教授 白川 展之 氏
	第3回、第4回	新潟大学経済科学部 教授 宍戸 邦久 氏
	第5回	新潟大学法学部 教授 田中 伸至 氏
経済事情		第四北越リサーチ&コンサルティング(株) 参与 唐橋 浩輔 氏
講 演	第1回	(株) テック長沢 代表取締役 長澤 智信 氏
	第2回	(有)島・(株)いかの墨 代表取締役 中島 敬二 氏
	第3回	(株) メビウス 代表取締役社長 加藤 幸久 氏
	第4回	(株) このみ 代表取締役 相浦 孝行 氏
	第5回	(株) 北信越地域資源研究所 代表取締役 平原 匡 氏
	第6回	(株) プラスパッケージ 代表取締役 小林 吾郎 氏
交渉力・折衝力		(一社) 日本経営協会 講師 角 佳保里 氏

技能労務職員研修

- ◇ね ら い ・公務員としての自覚と意識の確立を図る。
・自己の健康管理、公務員倫理、職場の人間関係について理解する。
- ◇特 徴 ・心身の健康維持、職場の人間関係、公務災害防止等に関する知識を学習します。
・公務員倫理、民間企業経営者の講演により、技能労務職員としての心構え等を学びます。
- ◇対 象 者 技能労務職員（この研修を原則5年以上受講していない者、複数回受講可）
1回：30名程度
- ◇実施期間 令和8年7月21日（火）～7月22日（水）
- ◇会 場 新潟県自治会館別館 第1研修室（3階）

◇科目及び時間等

科 目	時間	目標・内容・期待効果
健康管理・メンタルヘルスと職場の安全管理	2.5	・健康管理とメンタルヘルスの重要性を認識し、その対処法を学ぶことにより心身の健康維持を図る。 ・職場における安全管理について理解を深め、公務災害の未然防止を図る。
公務員倫理	3.0	講義及び演習により、公務員倫理についての理解を深める。
職場の人間関係	4.0	講義及び演習により、円滑に職務を遂行するために必要な心構えと態度について理解を深め、職場における良好な人間関係を築く。
講 演	1.5	県内で活躍する企業の管理者等の講演を通して、自らの仕事に対する姿勢・考え方などのヒントを得る。
合 計	11.0	

◇研修日程

9:30 9:45 10:00			12:30 13:30		14:20 14:30		16:00 16:30	
1日目	受付	開講	健康管理・メンタルヘルスと職場の安全管理		公務員倫理			
2日目	職場の人間関係				職場の人間関係		講 演	閉講

- ◇携 行 品 筆記用具、職場で使用している名札

◇講 師

科 目	担 当 講 師
健康管理・メンタルヘルスと職場の安全管理	（一社）日本産業カウンセラー協会 講師 米田 睦美 氏
公務員倫理	（一財）公共経営研究機構 講師 小川 眞澄 氏
職場の人間関係	（有）キャリアプロ・コンサルタント 代表取締役 小林 しほり 氏
講 演	（株）いえい 代表取締役社長 家井 凡之 氏

2 專 門 研 修

税務事務基礎研修

集 合

- ◇ね ら い 税務職員として職務を遂行するために必要な基礎知識を習得する。
- ◇特 徴 講義及び事例研究により、実務的な視点から必要とされる税務事務に関する基礎知識を学習することができます。
- ◇対 象 者 税務事務担当職員（研修内容は、税務事務経験年数おおむね1年未満の職員を対象としたものとなります。） 1回：48名程度
- ◇実施期間 令和8年7月27日（月）～ 7月29日（水）
- ◇会 場 新潟県自治会館本館 講堂（1階）

◇科目及び時間等

科 目	時間	目標・内容・期待効果
税務職員のための民法	5.5	権利義務の主体、時効、債権と物権、担保、相続等を中心に民法の概要を学び、今後の税務業務に役立てる。
地方税概要	3.0	地方税（諸税を含む。）の意義、役割、概要の講義及び用語の解説により、地方税の基本的しくみを理解する。
市町村税概論	3.0	講義・演習により、市町村民税の均等割及び所得割、徴収方法並びに固定資産税の課税客体、納税義務者及び課税標準など基本的事項を理解する。
総 則	3.0	地方税法総則の基本的事項を学ぶ。
事例研究	3.0	地方税に関する事例研究を通じて地方税に対する理解を深める。
合 計	17.5	

◇研修日程

9:30 9:45 10:00			12:30 13:30		16:30	
1日目	受付	開講	税務職員のための民法		税務職員のための民法	
2日目	地方税概要				市町村税概論	
3日目	総則				事例研究	閉講

- ◇携 行 品 地方税法（法律篇、令規通知篇）、民法（全文掲載のもの）、筆記用具、電卓、職場で使用している名札

◇講 師

科 目	担 当 講 師
税務職員のための民法	弁護士 岩渕 浩 氏
地方税概要	県担当職員
市町村税概論	市町村担当職員
総 則	県担当職員
事例研究	市町村担当職員

固定資産税事務基礎研修(課税)

オンライン

◇ね ら い 固定資産税事務（課税）の遂行に当たって必要な基礎知識を習得する。

◇特 徴 講義を中心に、実務的な視点から必要とされる固定資産税事務（課税）に関する基礎知識を学習することができます。

◇対 象 者 固定資産税（課税）事務担当職員（研修内容は、固定資産税（課税）事務経験年数おおむね1年未満の職員を対象としたものとなります。）

1回：30名程度

◇実施期間 令和8年6月12日（金）

◇会 場 各受講者所属団体指定場所（オンライン）

◇科目及び時間等

科 目	時間	目標・内容・期待効果
固定資産税（課税）	5.5	課税客体、課税標準、税率、特例措置等についての講義により課税のしくみを理解する。
合 計	5.5	

◇研修日程

9:30	9:45	10:00	12:00	13:00	16:30
	受付	開講	講義・演習	講義・演習	閉講

◇携 行 品 地方税法（法律篇、令規通知篇）、筆記用具、電卓

◇講 師 （一社）日本経営協会 講師 野木 義昭 氏

※ この研修は、オンライン形式（受講者がZoomにより各市町村庁舎等から参加）で実施します。

昨年度受講者の声

- ◆窓口での対応や問い合わせの際に役に立つ知識が多く、特にポイントとなっていた相続や共有名義の資産のお話はとても参考になりました。
- ◆業務をしていく中で疑問に考えていたことがこの研修を通して全体像をつかむことができました。
- ◆重要な箇所・用語を繰り返し説明いただいた点が、理解度を深めるにあたり良かったと感じました。

固定資産税事務基礎研修(家屋評価(木造中心)) オンライン

- ◇ね ら い 固定資産税事務（家屋評価）の遂行に当たって必要な基礎知識を習得する。
- ◇特 徴 講義及び演習により、実務的な視点から必要とされる固定資産税事務（家屋評価）に関する基礎知識を学習することができます。
- ◇対 象 者 固定資産税（家屋評価）事務担当職員（研修内容は、固定資産税（家屋評価）事務経験年数おおむね1年未満の職員を対象としたものとなります。）
1回：30名程度
- ◇実施期間 令和8年8月6日（木）・8月7日（金）
- ◇会 場 各受講者所属団体指定場所（オンライン）

◇科目及び時間等

科 目	時間	目 標 ・ 内 容 ・ 期 待 効 果
固定資産（家屋）の評価 （木造家屋の評価等）	11.5	固定資産税における家屋評価に関する知識として、家屋の認定、固定資産（家屋）評価基準の内容及び木造家屋の基本的な評価方法等について、講義・課題検討により理解・習得する。
合 計	11.5	

◇研修日程

9:30		9:45	10:00	12:00	13:00	16:30
1日目	受付	開講	講義・演習		講義・演習	
2日目	講義・演習				講義・演習	閉講

- ◇携 行 品 筆記用具、電卓
- ◇講 師 （公財）東京税務協会 専門講師 堀川 稔 氏

※ この研修は、オンライン形式（受講者がZoomにより各市町村庁舎等から参加）で実施します。

昨年度受講者の声

- ◆資料が非常に充実しており、今後判断に迷う案件が発生した場合にも参考に出来ると思うので、大変ありがたく感じております。
- ◆講義の時間配分がしっかりしており、万遍なく学ぶことができてよかったです
- ◆表やイラスト、写真が資料の中にあっただけで説明を聞いて理解するだけでなく、具体的にどういった事例であるか理解することができた。

固定資産税事務基礎研修(土地評価) オンライン

- ◇ね ら い 固定資産税事務（土地評価）の遂行に当たって必要な基礎知識を習得する。
- ◇特 徴 講義及び演習により、実務的な視点から必要とされる固定資産税事務（土地評価）に関する基礎知識を学習することができます。
- ◇対 象 者 固定資産税（土地評価）事務担当職員（研修内容は、固定資産税（土地評価）事務経験年数おおむね1年未満の職員を対象としたものとなります。）
1回：30名程度
- ◇実施期間 令和8年6月22日（月）・6月23日（火）
- ◇会 場 各受講者所属団体指定場所（オンライン）

◇科目及び時間等

科 目	時間	目標・内容・期待効果
固定資産税評価 （土地評価）	11.5	固定資産（土地）の評価の基準、評価の実施方法等についての講義・演習により評価のしくみを理解する。
合 計	11.5	

◇研修日程

	9:30	9:45	10:00	12:00	13:00	16:30
1日目	受付	開講	講義・演習		講義・演習	
2日目			講義・演習		講義・演習	閉講

- ◇携 行 品 筆記用具、電卓

◇講 師

日程	担 当 講 師
1日目	日本土地評価システム（株） 資産評価部 グループ長 平岡 拓実 氏
2日目	日本土地評価システム（株） 資産評価部 執行役員（名古屋・東京資産評価部統括部長） 後藤 吉孝 氏

※ この研修は、オンライン形式（受講者がZoomにより各市町村庁舎等から参加）で実施します。

昨年度受講者の声

- ◆丁寧の説明していただいたので、固定資産税評価（土地評価）が初めてでもわかりやすい講義でした。
- ◆過去の判例から納税者や行政はどこを焦点に、どこがポイントとなるのかがわかりやすかった。また、演習問題があったことでより理解ができたと感じる。

市町村民税事務基礎研修(個人) オンライン

- ◇ね ら い 個人の市町村民税事務の遂行に当たって必要な基礎知識を習得する。
- ◇特 徴 講義及び事例研究により、実務的な視点から必要とされる個人の市町村民税事務に関する基礎知識を学習することができます。
- ◇対 象 者 市町村民税（個人）事務担当職員（研修内容は、市町村民税（個人）事務経験年数おおむね1年未満の職員を対象としたものとなります。）
1回：30名程度
- ◇実施期間 令和8年10月15日（木）・10月16日（金）
- ◇会 場 各受講者所属団体指定場所（オンライン）

◇科目及び時間等

科 目	時間	目標・内容・期待効果
個人の市町村民税	11.5	・納税義務者、均等割、所得割、徴収方法等についての講義により基本的事項を理解する。 ・事例研究及び計算演習を通じて実践感覚を養う。

◇研修日程

9:30		9:45	10:00	12:00	13:00	16:30
1日目	受付	開講	講義・演習		講義・演習	
2日目	講義・演習				講義・演習	閉講

- ◇携 行 品 筆記用具、電卓
- ◇講 師 （公財）東京税務協会 専門講師 澤田 浩一 氏

※ この研修は、オンライン形式（受講者がZoomにより各市町村庁舎等から参加）で実施します。

昨年度受講者の声

- ◆住民税の基本から細かい計算方法、控除の条件、税改正まで、より詳しく知ることができた点が良かった。
- ◆今日までの業務で行ってきたことの基礎となる部分を再確認できたので、今後の適切な事務に生かしていける内容で非常に為になりました。
- ◆問題文やよくある問い合わせの回答があったので、より理解を深めることができて良かったです。

市町村民税事務基礎研修(法人) オンライン

- ◇ね ら い 法人の市町村民税事務の遂行に当たって必要な基礎知識を習得する。
- ◇特 徴 講義及び事例研究により、実務的な視点から必要とされる法人の市町村民税事務に関する基礎知識を学習することができます。
- ◇対 象 者 市町村民税（法人）事務担当職員（研修内容は、市町村民税（法人）事務経験年数おおむね1年未満の職員を対象としたものとなります。）
1回：30名程度
- ◇実施期間 令和8年10月27日（火）・10月28日（水）
- ◇会 場 各受講者所属団体指定場所（オンライン）

◇科目及び時間等

科 目	時間	目標・内容・期待効果
法人の市町村民税	11.5	・納税義務者、均等割、法人税割、申告納付等についての講義により基本的事項を理解する。 ・法人の市町村民税に関する事例検討及び税額の計算方法の演習により法人の市町村民税に関する理解を深める。

◇研修日程

	9:30	9:45	10:00	12:00	13:00	16:30
1日目	受付	開講	講義・演習		講義・演習	
2日目			講義・演習		講義・演習	閉講

- ◇携 行 品 筆記用具、電卓
- ◇講 師 （公財）東京税務協会 専門講師 青木 智子 氏

※ この研修は、オンライン形式（受講者がZoomにより各市町村庁舎等から参加）で実施します。

昨年度受講者の声

- ◆参考事例や演習問題の内容が非常にわかりやすい設定となっていて、今後の実務において大いに参考となるものばかりでした。
- ◆研修資料に根拠法が載っていることから、業務で判断が難しい状況に出くわしたときも、自分で調べて知識を応用していけると考える。そのため、定期的に研修資料に立ち戻って、知識の確認を怠らないようにしたい。

徴収事務基礎研修

オンライン

- ◇ね ら い 市町村税等の徴収事務を遂行するに当たって必要な基礎知識を習得する。
- ◇特 徴 講義及び事例研究により、実務的な視点から必要とされる徴収事務に関する基礎知識を学習することができます。
- ◇対 象 者 徴収事務担当職員（研修内容は、徴収事務経験年数おおむね1年未満の職員を対象としたものとなります。） 1回：30名程度
- ◇実施期間 令和8年6月9日（火）・6月10日（水）
- ◇会 場 各受講者所属団体指定場所（オンライン）
- ◇科目及び時間等

科 目	時間	目標・内容・期待効果
徴収事務の基本	11.5	徴収職員の心構え、納税折衝のポイント、地方税法総則、財産調査、財産の差押え等についての講義及び事例研究・演習により、徴収事務の基本を理解する。
合 計	11.5	

◇研修日程

9:30 9:45 10:00			12:00 13:00			16:30
1日目	受付	開講	徴収事務の基本		徴収事務の基本	
2日目	徴収事務の基本				徴収事務の基本	閉講

- ◇携 行 品 筆記用具、電卓
- ◇講 師 （公財）東京税務協会 専門講師 吉原 敏夫 氏

※ この研修は、オンライン形式（受講者がZoomにより各市町村庁舎等から参加）で実施します。

財務事務基礎研修

集 合

- ◇ね ら い 財務事務担当職員として職務を遂行するために必要な基礎知識を習得する。
- ◇特 徴 講義により、実務的な視点から必要とされる財務事務に関する基礎知識を学習することができます。
- ◇対 象 者 財務事務担当職員（研修内容は、財務事務経験年数おおむね1年未満の職員を対象としたものとなります。） 1回：30名程度
- ◇実施期間 令和8年6月4日（木）・6月5日（金）
- ◇会 場 新潟県自治会館本館 201会議室（2階）

◇科目及び時間等

科 目	時間	目標・内容・期待効果
地方財政制度	2.5	制度の概要及び国・地方財政の現状についての講義により、制度のしくみを理解する。
予 算	1.25	予算の目的、原則、内容及び編成の手続についての講義により、予算のしくみを理解する。
地方交付税制度	1.75	制度の概要、機能及び個別団体の地方交付税の算定方法についての講義により、制度のしくみを理解する。
収入・支出	1.5	講義により、収入の手続・方法及び支出の意義、種類、方法、特例と原則について理解する。
契 約	1.5	講義により、契約の意義、種類及び締結方法を理解する。
地方債制度	2.5	制度の意義、機能、種類、地方債の発行条件等についての講義により、制度のしくみを理解する。
合 計	11.0	

◇研修日程

9:30		9:45	10:00	10:55	11:05	12:30	13:30	14:40	14:50	16:00	16:30
1日目	受付	開講	地方財政制度				予算		地方交付税制度		
2日目	収入・支出				契約		地方債制度			閉講	

- ◇携 行 品 地方自治小六法、筆記用具、電卓、職場で使用している名札
- ◇講 師 県担当職員

契約事務基礎研修

オンライン

- ◇ね ら い 契約事務の遂行に当たって必要な基礎知識を習得する。
- ◇特 徴 講義により、実務的な視点から必要とされる契約事務に関する基礎知識を学習することができます。
- ◇対 象 者 契約事務担当職員（研修内容は、契約事務経験年数おおむね1年未満の職員を対象としたものとなります。） 1回：30名
- ◇実施期間 令和8年7月30日（木）・7月31日（金）
- ◇会 場 各受講者所属団体指定場所（オンライン）

◇科目及び時間等

科 目	時間	目標・内容・期待効果
契約事務の基礎知識	5.5	・講義により、地方公共団体における契約事務とその具体的な運用方法について学習する。 ・契約トラブル事例から契約の重要性を理解する。
契約書の読み方、作り方	6.0	契約書の読み方、作り方について学習し、契約の成立と効力を理解し、契約事務についての理解を深める。
合 計	11.5	

◇研修日程

9:30		9:45	10:00	12:00	13:00	16:30
1日目	受付	開講	契約事務の基礎知識		契約事務の基礎知識	
2日目	契約書の読み方、作り方				契約書の読み方、作り方	閉講

- ◇携 行 品 地方自治小六法、筆記用具
- ◇講 師 （一社）日本経営協会 講師 嶋 靖記 氏

※ この研修は、オンライン形式（受講者がZoomにより各市町村庁舎等から参加）で実施します。

昨年度受講者の声

- ◆日々の契約事務をこなすことで精一杯であり、根拠条例や判例等を細かく確認することがなかなか出来ませんでしたが、今回の研修を通じて学ぶことができました。
- ◆資料に沿いながらも、嶋講師の過去の現場での実体験や見聞された話も交えての講義だったため、契約担当として気を付けるべきことや疑問に思っていたことをあらためて再確認することができました。
- ◆契約事務のポイントや契約書作成時の注意点など、事例を基に学ぶことができた。特に、契約書の文書作成については業務上で非常に活かせる内容だと感じた

簿記基礎研修

オンライン

◇ね ら い 地方公会計制度に関する基礎知識を習得するため、複式簿記の基本を学ぶ。

◇特 徴 ・複式簿記の基本を講義及び問題演習を通じて学びます。
・一定程度の簿記の知識を有していない者は、地方公会計事務基礎研修の受講の前にこの研修を受講することをおすすめします。
・翌日実施する地方公会計事務基礎研修を引き続き受講することを原則とします。

◇対 象 者 地方公会計事務担当職員（研修内容は、一定程度の簿記の知識を有していない者であって、地方公会計事務経験年数おおむね 1 年未満の職員を対象としたものとなります。） 1 回：30 名程度

◇実施期間 令和 8 年 9 月 24 日（木）

◇会 場 各受講者所属団体指定場所（オンライン）

◇科目及び時間等

科 目	時間	目標・内容・期待効果
複式簿記の基礎	5.5	・企業会計と官庁会計の違いについて理解する。 ・複式簿記の基本を理解し、仕訳から決算までの簿記一巡の流れと決算書の見方を学ぶ。 ・講義及び問題演習を通じて知識の定着を図る。
合 計	5.5	

◇研修日程

9:30	9:45	10:00	12:00	13:00	16:30
受付	開講	複式簿記の基礎		複式簿記の基礎	閉講

※ 翌日に「地方公会計事務基礎研修」を実施します。

◇携 行 品 筆記用具、電卓

◇講 師 関口経営事務所 経営診断士 関口 康尚 氏

※ この研修は、オンライン形式（受講者が Zoom により各市町村庁舎等から参加）で実施します。

昨年度受講者の声

- ◆簿記の基礎知識を単純に説明するのではなく、簡単な事例や日常に掛け合わせて説明を行ったことで、より理解が深めることができ良かった。
- ◆webでの開催であったが、講師の先生が説明をして、終わりではなく、個人やグループで考える時間を作り、理解を深める時間を設けてくれたことが良かった。

地方公会計事務基礎研修

オンライン

◇ね ら い 統一的な基準による財務書類の基本を学び、地方公会計制度に関する基礎知識を習得する。

◇特 徴 ・統一的な基準による財務書類の基本を理解し、地方公会計の基礎を学びます。
・一定程度の簿記の知識を有していない者は、この研修受講前に「簿記基礎研修」を受講することをおすすめします。
・一定程度の簿記の知識を有している者は、この研修のみを受講することも可能です。

◇対 象 者 地方公会計事務担当職員（研修内容は、一定程度の簿記の知識を有している者であって、地方公会計事務経験年数おおむね1年未満の職員を対象としたものとなります。） 1回：30名程度

◇実施期間 令和8年9月25日（金）

◇会 場 各受講者所属団体指定場所（オンライン）

◇科目及び時間等

科 目	時間	目標・内容・期待効果
地方公会計の基礎	5.5	・地方公会計制度の導入背景・経緯を押さえる。 ・統一的な基準による財務書類の基本を理解し、当該財務書類の作成実務及び活用事例を学ぶ。
合 計	5.5	

◇研修日程

9:30	9:45	10:00	12:00	13:00	16:30
	受付	開講	地方公会計の基礎	地方公会計の基礎	閉講

◇携 行 品 筆記用具、電卓

◇講 師 関口経営事務所 経営診断士 関口 康尚 氏

※ この研修は、オンライン形式（受講者がZoomにより各市町村庁舎等から参加）で実施します。

昨年度受講者の声

◆前日の簿記基礎研修に引き続き、非常にわかりやすく、講師のしっかりとした説明の後に問題演習という形式であったため、自身の中での理解が非常に深いと感じている。問題演習での、グループワークを通じてオンラインながらも他団体の方と交流できた点も非常に良かった。

給与事務基礎研修

集 合

- ◇ね ら い 給与事務を遂行するために必要な基礎知識を習得する。
- ◇特 徴 講義及び事例研究により、実務的な視点から必要とされる給与事務に関する基礎知識を学習することができます。
- ◇対 象 者 給与事務担当職員（研修内容は、給与事務経験年数おおむね1年未満の職員を対象としたものとなります。） 1回：30名程度
- ◇実施期間 令和8年7月16日（木）・7月17日（金）
- ◇会 場 新潟県自治会館本館 201会議室（2階）

◇科目及び時間等

科 目	時間	目標・内容・期待効果
給与制度の概要	4.0	講義により地方公務員の給与、給与体系及び諸原則を理解する。
給与制度演習	4.5	給料の決定・支給方法、昇格・昇給及び諸手当の性格、支給要件・支給額、支給方法等について演習により理解を深める。
事例研究	3.0	給与実務の課題・問題について事例研究（グループ討議）により理解を深める。
合 計	11.5	

◇研修日程

9:30 9:45 10:00		12:30 13:30		14:55 15:05		16:30	
1日目	受付 開講	給与制度の概要		給与制度の概要		給与制度演習	
2日目	給与制度演習			事例研究		閉講	

- ◇携 行 品 給与小六法（令和8年版）、筆記用具、電卓、職場で使用している名札

◇講 師

科 目	担 当 講 師
給与制度の概要	県担当職員
給与制度演習	県担当職員
事例研究	市町村担当職員

人事評価者基礎研修

集 合

◇ね ら い 人事評価制度の意義や一次評価者、二次評価者の評価における留意点を理解する。

◇特 徴 ・能力評価及び業績評価の基礎的内容を学習することができます。
・一次評価者、二次評価者としての心得、能力評価及び業績評価における留意点を学習することができます。

◇対 象 者 受講を希望する職員 1回：30名程度
・人事評価者
・人事評価の基礎知識を学習したい方

◇実施期間 令和8年5月8日（金）

◇会 場 新潟県自治会館本館 201 会議室（2 階）

◇科目及び時間等

科 目	時間	目標・内容・期待効果
講義・演習	5.5	<u>1. 人事評価の基本（講義）</u> ・導入の背景と目的と意義 ～人材育成ツールとしての人事評価 ・人事評価制度の仕組みとステップ <u>2. 人事評価ケーススタディ（講義・演習）</u> ・標準の評価とは ～ケーススタディ <u>3. 目標設定の考え方（講義・演習）</u> ・目標による管理とは ・目標設定の考え方 ・目標設定演習 <u>4. 期初面談（講義）</u> ・面談のねらい <u>5. 人事評価演習（演習）</u> ・人事評価実習 まとめ ・評価者の心得
合 計	5.5	

◇研修日程

9:30	9:45	10:00	12:30	13:30	16:30
受付	開講	講義・演習		講義・演習	閉講

◇携 行 品 筆記用具、職場で使用している名札

◇講 師 （株）日本マネジメント協会 マネジメントコンサルタント 佐藤 義哲 氏

昨年度受講者の声

- ◆人事評価について処遇のイメージが強かったが、今日の研修で、人事評価＝人材育成という観点もあるんだということを学んだので、今後の業務に生かしていきたいと思った。
- ◆今年度より人事評価をする立場になったのですが、例題や演習をしながら有意義な研修でした。

説明力向上研修

集 合

◇ね ら い 分かりやすく説明をすることで相手の理解を促進し、納得が得られる“伝わる”説明の仕方を体系的に学び、説明力を向上させる。

◇特 徴 講義及び演習により、相手に伝わる説明の方法を習得することができます。

◇対 象 者 受講を希望する職員 1回：30名程度

- ・分かりやすく説明することに苦手意識を持っている方
- ・自分の説明が相手に伝わらないことが多いと感じている方
- ・相手の納得が得られるような説明をしたい方

◇実施期間 令和8年10月6日（火）

◇会 場 新潟県自治会館本館 201 会議室（2 階）

◇科目及び時間等

科 目	時間	目標・内容・期待効果
講義・演習	5.5	・効果的なコミュニケーションとは ・話すことへの心得 ・聞くことへの心得 ・説明スキル ・コミュニケーションスキルを報告・相談に活かす ・コミュニケーション力を高めるために
合 計	5.5	

◇研修日程

9:30	9:45	10:00	12:30	13:30	16:30
受付	開講	講義・演習		講義・演習	閉講

◇携 行 品 筆記用具、職場で使用している名札

◇講 師 （株）話し方教育センター 講師 千名 友貴 氏

昨年度受講者の声

- ◆講師の方がテキストをなぞるだけでなく、言葉で説明しているところが判やすかった。また、演習の設定も判りやすく、考える機会となった。
- ◆演習が多くて、学んだことをすぐ実践できた。例えなどの話が分かりやすく、イメージしやすかった。

クレーム対応力向上研修

集 合

- ◇ね ら い ・クレーム対応の基礎を学び、クレーム対応の重要性を理解する。
・実習を通じて実践的なクレーム対応方法を習得する。
・クレームに強い組織、風土を確立するための考え方、実践の方策を習得する。
- ◇特 徴 ・実際の業務の場面を想定した内容で、クレームへの対応法を学習することができます。
・職員個人のクレーム対応力向上のほか、クレームに強い組織づくりについても学習することができます。
- ◇対 象 者 受講を希望する職員 1回：30名程度
・日常業務でよくクレーム対応をしている方
・クレーム対応力のレベルアップを図りたい方
- ◇実施期間 令和8年8月20日（木）・8月21日（金）
- ◇会 場 新潟県自治会館本館 201会議室（2階）

◇科目及び時間等

科 目	時間	目標・内容・期待効果
講義・演習	11.5	・行政組織が抱えるクレームの傾向 ・クレーム対応の基本的な心構え ・クレーム対応の成果を左右する聞き方・心掛ける話の伝え方 ・悪質クレームの見極め方と対処法 ・交渉領域における対応スキル ・組織でクレームに対応する／メンタル・ストレスへの対処
		グループワーク及びロールプレイングによる実習を中心に、クレーム/ハードクレームへの考え方や対応方法を学び、習得を目指す。
合 計	11.5	

◇研修日程

9:30 9:45 10:00			12:30 13:30		16:30	
1日目	受付	開講	講義・演習		講義・演習	
2日目	講義・演習				講義・演習	閉講

- ◇携 行 品 筆記用具、職場で使用している名札
- ◇講 師 (株)話し方研究所 講師 吉武 治美 氏

ファシリテーター養成研修

集 合

- ◇ね ら い ・会議や住民との協働作業（ワークショップ）におけるファシリテーター（促進役・解決支援者）の役割と重要性について理解する。
・会議や住民との協働作業（ワークショップ）における議論や問題解決の場面においてファシリテーターに必要なスキルを習得する。

- ◇特 徴 講義及び実習により、会議や住民との協働作業（ワークショップ）において必要とされるファシリテーターのスキルを習得することができます。

- ◇対 象 者 ファシリテーターの基礎知識・スキルを必要とする職員
1回：30名程度
・ファシリテーションスキルのレベルアップを図りたい方
・多数の関係者を含む会議の運営に難しさを感じている方

- ◇実施期間 令和8年9月1日（火）・9月2日（水）

- ◇会 場 新潟県自治会館本館 201 会議室（2 階）

- ◇科目及び時間等

科 目	時間	目標・内容・期待効果
ファシリテーターとは	5.5	講義・演習を通して、ファシリテーターの役割と考え方、具体的なスキルを学ぶ。
演習	5.5	演習を通して、スキルの有効性を体験から学ぶ。また、参加者間で現場への活かし方を学び合い、理解を深める。
まとめ	0.5	全体を振り返り、疑問点を解消すると共に、ファシリテーターに必要なスキルとマインドを確認する。
合 計	11.5	

- ◇研修日程

9:30 9:45 10:00			12:30 13:30		16:00 16:30	
1 日目	受付	開講	ファシリテーターとは		ファシリテーターとは	
2 日目	演習				演習	まとめ 閉講

- ◇携 行 品 筆記用具、職場で使用している名札

- ◇講 師 （有）F&C ヨシザキ 代表取締役 吉崎 利生 氏

※「ファシリテーター」とは、会議などの集団討議で参加者の意見を引き出したり、話の流れを整理したり、認識の不一致を調整したりする問題解決の支援者、促進役のことをいいます。

昨年度受講者の声

- ◆講師の進め方、話し方が上手で、ファシリテーター研修に限定されない学びとなりました。
- ◆参加者が発言できる体制が会議の満足度を上げる点だと知ることができました。

保育士、幼稚園教諭のためのコミュニケーション力向上研修

集 合

～後輩育成・保護者とのやり取り・働きやすい職場のために～

◇ね ら い 子どもを取り巻く環境が近年大きく変化している中、子育て支援の一環を担う者としての対人間関係能力を向上させる。

◇特 徴 講義及び実習により、保育士、幼稚園教諭として対人関係において必要とされるコミュニケーション能力を習得することができます。

◇対 象 者 受講を希望する保育士、幼稚園教諭 1回：30名程度
・保育、幼児教育にかかわるすべての職員
・対保護者、保育者間におけるコミュニケーションスキルのレベルアップを図りたい方

◇実施期間 令和8年8月25日（火）

◇会 場 新潟県自治会館本館 201会議室（2階）

◇科目及び時間等

科 目	時間	目標・内容・期待効果
講義・演習	5.5	・保育現場のコミュニケーション ・多様な家庭への支援 ・心に架け橋を架けるコミュニケーション ・成長するチームへ ・職場の課題解決・コーチング ・保育DX・業務の見直し
合 計	5.5	

◇研修日程

9:30	9:45	10:00	12:30	13:30	16:30
受付	開講	講義・演習		講義・演習	閉講

◇携 行 品 筆記用具、職場で使用している名札

◇講 師 合同会社ウメハナチャイルドケアコミュニケーションズ

代表 松原 美里 氏

昨年度受講者の声

- ◆グループワークや実演を行ったことで、他の方の意見を聞くことができ、とても良い経験でした
- ◆コーチングのスキルが学べた事が良かった。今の時代では若い人向けにコミュニケーション技術を学ぶ機会が必要であると感じた

業務改善研修

集 合

- ◇ね ら い ・業務改善の着眼点、改善の手法、手順を身につける。
・改善改革を阻害している考え方のクセ、思い込み、先入観に気づき、意識改革を行う。

- ◇特 徴 講義及び演習により、業務改善の手法を学習することができます。

- ◇対 象 者 ・受講を希望する職員 1回：30名程度
・日常業務においてムリ、ムダ、ムラをなくしたい方

- ◇実施期間 令和8年9月8日（火）

- ◇会 場 新潟県自治会館本館 201会議室（2階）

- ◇科目及び時間等

科 目	時間	目標・内容・期待効果
講義・演習	5.5	・改善提案の重要性 ・業務改善の進め方 ・改善の実現方法 ・業務改善を頓挫させないために ・さらに業務改善能力を高めるために
合 計	5.5	

- ◇研修日程

9:30	9:45	10:00	12:30	13:30	16:30
受付	開講	講義・演習		講義・演習	閉講

- ◇携 行 品 筆記用具、職場で使用している名札

- ◇講 師 （株）話し方教育センター 講師 池田 統 氏

データ活用力向上研修

集 合

◇ね ら い ・データに関する問題点や課題を理解し、正しい情報の読み取り方及びデータの活用方法を身に付ける。

◇特 徴 ・実践的な内容によりデータの信憑性、妥当性を判断できるデータリテラシーの能力を高めることができます。

◇対 象 者 受講を希望する職員 1回：30名程度
・地域の現状を把握するため、的確なデータ分析について学びたい方
・住民ニーズを把握するため、的確なアンケートの手法や結果の活用について学びたい方

◇実施期間 令和8年9月4日（金）

◇会 場 新潟県自治会館本館 201 会議室（2 階）

◇科目及び時間等

科 目	時間	目標・内容・期待効果
講義	5.5	・データリテラシーの必要性 ・アンケートの留意点 ・データ加工の留意点（グラフの使い方等） ・データ解釈の留意点（分析の視点等） ・目標管理・評価の留意点
合 計	5.5	

◇研修日程

9:30	9:45	10:00	12:30	13:30	16:30
	受付	開講	講義	講義	閉講

◇携 行 品 筆記用具、職場で使用している名札

◇講 師 長野県立大学 グローバルマネジメント学部 教授 田村 秀 氏

昨年度受講者の声

- ◆同じテーマでも視覚や表現により受け取り方が違うことが良く理解できた。非常に説明がわかりやすく有意義な研修であった。
- ◆データを扱うまでの注意点を事例とともに説明いただき、とてもわかりやすかったです。
- ◆こういったデータがあるのか、活用方法、今のトレンドを知ることができた。

ハラスメント防止研修

集 合

- ◇ね ら い ・セクシャルハラスメント、パワーハラスメント等の定義を理解し、ハラスメントが発生する原因を考え、防止する力を身に付ける。
- ◇特 徴 ・職場環境を管理する上で知っておくべき法律を学びます。
・セクハラ、パワハラ等の具体的な知識を学びます。
・職場内コミュニケーションスキルの向上を目指します。
- ◇対 象 者 セクハラ、パワハラ等の知識、対処方法を必要とする職員 1回：30名程度
・セクハラ、パワハラ等の防止について学びたい方
・職場内コミュニケーションスキルの向上を図りたい方
- ◇実施期間 令和8年8月4日（火）
- ◇会 場 新潟県自治会館本館 201 会議室（2 階）

◇科目及び時間等

科 目	時間	目標・内容・期待効果
講義・演習	5.5	・ハラスメント“予防”への認識 ・セクシュアル・ハラスメントへの理解 ・マタニティハラスメントへの理解 ・パワーハラスメントへの理解 ・パワハラと感じさせない叱り方 ・“叱る”から“考えさせる”へ ・信頼できるリーダーであり続けるために
合 計	5.5	

◇研修日程

9:30	9:45	10:00	12:30	13:30	16:30
	受付	開講	講義・演習		講義・演習
					閉講

- ◇携 行 品 筆記用具、職場で使用している名札
- ◇講 師 (株) 話し方教育センター 講師 根津 綾奈 氏

民法基礎研修(総則、物権、債権、家族) オンライン

◇ねらい 民法（総則、物権法、債権法、家族法）について学習し、業務遂行のベースとなる基礎知識を身に付けます。

◇特徴 民法（総則、物権法、債権法、家族法）に関する基礎知識を網羅的に学習することができます。

◇対象者

- ・民法の初学者で、基礎知識を学びたい方
- ・業務において民法の知識を必要としている方
- ・法的思考能力を養成する基礎として民法を学びたい方

1回：30名程度

◇実施期間 令和8年10月7日（水）～10月9日（金）

◇会場 各受講者所属団体指定場所（オンライン）

◇科目及び時間等

科目	時間	目標・内容・期待効果
総則	8.5	・民法の全体像をつかむため、民法の役割、民法の基本原則を学ぶ。 ・2日目以降で学ぶ物権、債権の主体となる「人」、客体となる「物」、契約等の法律行為・代理、期間の計算、時効制度を学ぶ。
物権法	3.0	・物権の意義を「債権」と比較して理解する。・土地の売買等の物権変動、登記の役割を学ぶ。所有権や地上権、占有権を学ぶ。 ・担保物権の意義、種類（抵当権、質権等）、役割としての「優先弁済権」を理解する。
債権法	3.0	・債権の意義を「物権」と比較して理解する。 ・保証、契約の意義、種類（売買、請負、賃貸借等）不法行為を学ぶ。
家族法	3.0	・家族法の意義、歴史を最初に学ぶ。 ・親族編として婚姻、親子、親権制度を学ぶ。 ・相続編として法定相続、遺産分割、遺言、遺留分等を学ぶ。
合計	17.5	

昨年度受講者の声

◆公務員試験以来の民法の学習でしたが、当時からぼやっとした理解の条文の解像度が高まりました。公務員になってから受けた研修の中で、一番有益だったと感じます。

◇研修日程

	9:30	9:45	10:00	12:00	13:00	16:30
1日目	受付	開講	総則		総則	
2日目			総則		物権法	
3日目			債権法		家族法	閉講

◇携行品 筆記用具

◇講師 (株)ブラックス 代表取締役 北田 琢郎 氏

※ この研修は、オンライン形式（受講者がZoomにより各市町村庁舎等から参加）で実施します。

法制執務研修

集 合

◇ね ら い 法令等の基本形式や条例・規則の制定改廃の基礎知識を習得し、法制執務能力の向上を図ります。また、今後、求められる自治体法務の考え方を事例等により学習します。

◇特 徴 読み方、解釈から、形式、構成、接続詞や句読点の使い方等まで網羅的に学習することができます。

◇対 象 者 法令等の読み方、書き方のコツを学び、条例・規則の制定改廃の基礎知識を習得したい方
1回：48名程度

◇実施期間 令和8年7月7日（火）～7月9日（木）

◇会 場 新潟県自治会館本館 201 会議室（2 階）

◇科目及び時間等

科 目	時間	目標・内容・期待効果
講義・演習	17.5	・コンプライアンスと地方分権改革 ・分権時代の行政運営 ・自治体の政策形成 ・法制執務 ・一般地方自治制度上の政策課題
合 計	17.5	

◇研修日程

	9:30	9:45	10:00	12:30	13:30	16:30
1 日 目	受付	開講	講義・演習		講義・演習	
2 日 目			講義・演習		講義・演習	
3 日 目			講義・演習		講義・演習	閉講

◇携 行 品 筆記用具、職場で使用している名札

◇講 師 第一法規（株） 講師 峯村 欣弘 氏

昨年度受講者の声

- ◆法務執務の基本を丁寧に説明してもらえてよかったです。目的や根拠、歴史的背景も併せて伝えてもらい、分かりやすかったです。
- ◆講師の方の体験談を混ぜて話をしていただけたのが良かった。
- ◆今まで受講した研修で最も参考になった。法令執務担当に限らず、自治体の職員は知っておくべき内容が多く、他の人に受講をおススメできる。

ロジカルシンキング研修

集 合

◇ね ら い 論理的思考の体系を理解し、客観性・妥当性があり多くの人が納得できる思考の手法を、演習を交えながら習得します。

◇特 徴

- ・ロジカルシンキングの代表的な手法の理解を通じて、自分の考えを筋道を立てて相手に分かりやすく伝えるスキルを高めます。
- ・現場に即したケーススタディを通じて、職場での実践につながる手法を身に付けることができます。

◇対 象 者

- ・考えをまとめることが苦手な方
- ・相手にとって分かりやすく、説得力のある伝え方を身に付けたい方

1回：30名程度

◇実施期間 令和8年9月9日（水）・9月10日（木）

◇会 場 新潟県自治会館本館 201 会議室（2 階）

◇科目及び時間等

科 目	時間	目標・内容・期待効果
講義・演習	11.5	・ブレインストーミング法とKJ法で、発想して整理する ・三角ロジック（ピラミッド）で、主張に根拠を添える ・リンクマップで、筋道を追って説明する ・マトリクスで、情報の漏れ・ムラ・重複をなくす ・ロジックチャートで、わかりやすく説明する ・総合演習 など
合 計	11.5	

◇研修日程

9:30 9:45 10:00			12:30 13:30		16:30	
1 日目	受付	開講	講義・演習		講義・演習	
2 日目	講義・演習				講義・演習	閉講

◇携 行 品 筆記用具、職場で使用している名札

◇講 師 （株）BCL 講師 別所 栄吾 氏

発想力・企画力向上研修

集 合

◇ね ら い 発想力が必要となる背景を理解するとともに、従来の枠組にとらわれない新たな発想を行うための視点を習得します。また、発想の阻害要因も理解した上で、新たな施策を企画立案する演習を通じて、発想を具体的な企画にまとめていくための手法を身に付けます。

◇特 徴 ・自由な発想をするための考え方や、発想力を高めるための日頃の意識の持ち方などを身に付けることができます。
・事例を取り上げながら理解を深め、実際に政策を立案することで実践力を高められます。

◇対 象 者 ・改革の意欲を持って、新しい発想をしたい方
・ありきたりな発想しか出てこない、と感じている方
・決まりきったことをやるだけでは物足りないと考えている方
1回：30名程度

◇実施期間 令和8年7月14日（火）・7月15日（水）

◇会 場 新潟県自治会館本館 201会議室（2階）

◇科目及び時間等

昨年度受講者の声

◆企画の立案、プレゼンテーションの組み立て方がわかりやすく、今後に生かせると思った。

科 目	時間	目標・内容・期待効果
講義・演習	11.5	・企画立案の基盤能力を磨く ・企画力を支える発想力① ～思考の具体化 ・企画力を支える発想力② ～思考の二値化・客観化 ・企画力を支える発想力③ ～思考の深化・先見化 ・企画対象の決定 ・企画立案へのステップ ・対策としての企画立案 ・対策の決定 ・プレゼンテーションの基礎 ・効果的なプレゼンテーションの技法 ・さらにプレゼンテーションスキルを高めるために
合 計	11.5	

◇研修日程

9:30 9:45 10:00			12:30 13:30		16:30	
1日目	受付	開講	講義・演習		講義・演習	
2日目	講義・演習				講義・演習	閉講

◇携 行 品 筆記用具、職場で使用している名札

◇講 師 （株）話し方教育センター 講師 海老原 順 氏

マニュアル作成研修

集 合

◇ね ら い 業務の効率化や標準化の観点から、マニュアルを作成する際に必要な手順と留意点について、体系的に習得します。

◇特 徴 ・マニュアルを作成する手順と留意点を、講義とグループワークを通じて体系的に学習できます。
・担当業務を想定してワークシートにて実際に作成を繰り返す、ドリル形式の研修です。研修終了時には、業務マニュアルの一部が完成します。

◇対 象 者 ・手持ちの資料を元に、業務を「見える化」したい方
・現在の業務でマニュアルを作りたいと考えている方
・自分にしか分からない／できない業務があり、日々多忙な方
1 回：30 名程度

◇実施期間 令和 8 年 11 月 10 日（火）

◇会 場 新潟県自治会館本館 201 会議室（2 階）

◇科目及び時間等

昨年度受講者の声

◆普段、業務のマニュアルを何気なくつくっていたが、どういうところに気を付けるといいか、その考え方を具体的に学べてよかったです。

科 目	時間	目標・内容・期待効果
講義・演習	5.5	<u>1 マニュアル作成のねらい（講義）</u> ・時間の短縮 / 時間当たりの生産性の向上 ～働き方改革の促進 ・コストの削減、品質の維持と向上 ・ヒューマンエラー防止を目指して
		<u>2 マニュアル作成の手順（講義・演習）</u> ・マニュアルはいつ作成するのか？ 掲載する項目は？ 5W1Hは？
		<u>3 マニュアルを実際に作成してみる（個人ワーク・グループ討議）</u> ・作成演習 ～グループ内発表、意見交換
		<u>4 組織でマニュアルを活用するための3つのポイント（講義）</u> ・①コンプライアンス ②モチベーション ③アカウントビリティ まとめ
合 計	5.5	

◇研修日程

9:30	9:45	10:00	12:30	13:30	16:30
受付	開講	講義・演習		講義・演習	閉講

◇携 行 品 筆記用具、職場で使用している名札

◇講 師 （株）日本マネジメント協会 マネジメントコンサルタント 佐藤 義哲 氏

タイムマネジメント研修

オンライン

◇ね ら い タイムマネジメントの基本的な考え方や具体的な手法を習得するとともに、情報共有による時間の有効活用や時間を大幅に費やす原因となるトラブルへの予防・対処方法についても理解することで、業務の効率化を図ります。

◇特 徴 ・自身の行動記録を振り返ることで自分の時間の使い方を確認し、タイムマネジメント上の課題を効果的に把握することができます。
・様々なタイムマネジメントの工夫や注意点を網羅的に学習することができます。

◇対 象 者 ・仕事が多く、残業続きになっている方
・仕事の効率の悪さを感じている方
・現状よりも更に仕事の質を高めたい方
1回：30名程度

◇実施期間 令和8年10月26日（月）

◇会 場 各受講者所属団体指定場所（オンライン）

◇科目及び時間等

科 目	時間	目標・内容・期待効果
講義・演習	5.5	<u>1. タイムマネジメントの基本（講義）</u> ・タイムマネジメントの考え方と求められる背景 <u>2. 働き方改革時代に求められる自治体職員（講義・個人ワーク）</u> ・認識チェック 残業、休日、会議について ・働き方の問題点と見直しの取り組みポイント <u>3. タイムマネジメントの実際（講義・個人ワーク）</u> ・自身の働き方チェック ～朝の計画と夕方の振り返り <u>4. タイムマネジメント演習（講義・個人ワーク）</u> ・仕事の洗いだし /・問題点の原因分析、課題設定 ・仕事の優先順位のつけ方 <u>5. まとめ（講義）・タイムマネジメント よくある質問</u>
合 計	5.5	

◇研修日程

9:30	9:45	10:00	12:00	13:00	16:30
受付	開講	講義・演習		講義・演習	閉講

◇携 行 品 筆記用具

◇講 師 （株）日本マネジメント協会 マネジメントコンサルタント 佐藤 義哲 氏

※ この研修は、オンライン形式（受講者がZoomにより各市町村庁舎等から参加）で実施します。

事務ミス防止研修

集 合

◇ね ら い 事務ミスの発生要因を理解し、個人又は組織として事務ミスを防ぐための効果的な対策や仕組みについて学びます。

◇特 徴

- ・ミスが発生する原因や、発生を防ぐための適切なチェックのポイントが理解できます。
- ・ミスが起きそうな業務を洗い出し、それに対する効果的な予防策を学習することができます。

◇対 象 者

- ・職場でミスが頻発している方
- ・今の仕事に「いつかミスするのではないか」という不安を感じている方

1回：30名程度

◇実施期間 令和8年10月29日（木）

◇会 場 新潟県自治会館本館 201 会議室（2 階）

◇科目及び時間等

科 目	時間	目標・内容・期待効果
講義・演習	5.5	・ヒューマンエラーの概念 ・ヒューマンエラー具体策検討ステップ ・ハインリッヒの法則とヒヤリハット ・職場で起こりうるリスクの検討 ・ヒヤリハットの発生確率と影響度の理解
		・ヒューマンエラーの具体的対策 ・リスク分析と対応策の検討 ・事務ミスへの対応策の考え方 ・事務ミスリスクの洗い出しと優先順位づけ
合 計	5.5	

◇研修日程

9:30	9:45	10:00	12:30	13:30	16:30
	受付	開講	講義・演習	講義・演習	閉講

◇携 行 品 筆記用具、職場で使用している名札

◇講 師 (株) ビーコンラーニングサービス 講師 鈴木 悟史 氏

昨年度受講者の声

- ◆事務ミスの発生要因を理解することができた。
- ◆事務ミスに対して防止法のみを検討するのではなく、様々な視点から自身のミスの特性など考えられてよかった。
- ◆グループワーク形式で実際の事例などを共有することができ、理解度が深まってよかった。

接遇マナー基礎研修

集 合

◇ね ら い 実際の接遇の場面において、所作の違いによる印象の与え方等を比較し、接遇のポイントを学びます。また、ロールプレイングを通じて実践的な接遇スキルを身に付けることにより、職場における接遇レベルを向上させます。

◇特 徴 実際の業務の場면을踏まえたロールプレイングを通じ、接遇の基本や所作の考え方を学ぶことができます。

◇対 象 者 ・住民、業者の応対が多い部署の方
・よりレベルの高い接遇スキルを身に付けたい方
1回：30名程度

◇実施期間 令和8年6月2日（火）

◇会 場 新潟県自治会館本館 201 会議室（2 階）

◇科目及び時間等

科 目	時間	目標・内容・期待効果
講義・演習	5.5	・目指すべき“接遇”とは ・接遇基本スキル1～マナー ・接遇基本スキル2～対話 ・クレームへの基本認識 ・電話応対者としての心得 ・印象を高める電話応対とは ・さらに接遇・クレーム対応力を高めるために
合 計	5.5	

◇研修日程

9:30	9:45	10:00	12:30	13:30	16:30
	受付	開講	講義・演習	講義・演習	閉講

◇携 行 品 筆記用具、職場で使用している名札

◇講 師 （株）話し方教育センター 講師 山崎 達也 氏

昨年度受講者の声

- ◆グループでのトークトレーニングなど、実際に行うことで、何を伝えるかどうすれば伝わるかを考えるキッカケとなった。接遇についてきちんと学べる良い機会であった。
- ◆窓口対応や電話対応を行っている場面を想定した、実際の状況に即した演習が業務の場面で活用しやすいと思いました。

OJT基礎研修

集 合

◇ね ら い 職場研修（On the Job Training）の意義と重要性を理解し、人材育成の有効な方法について学びます。また、部下指導における基礎的な事項を学習し、より良い組織づくりへの視点を習得します。

◇特 徴 O J T推進者としての当事者意識を身につけ、仕事の質を高めて成果につなげるための現場のマネジメントなどを中心に、O J Tの進め方や考え方等を学びます。

◇対 象 者 受講を希望する職員経験年数1年以上の職員
・管理監督職員
・部下指導における基礎的な事項を学びたい方
1回：30名程度

◇実施期間 令和8年6月15日（月）・6月16日（火）

◇会 場 新潟県自治会館本館 201 会議室（2 階）

◇科目及び時間等

科 目	時間	目標・内容・期待効果
講義・演習	11.5	・監督者の役割と部下指導 ・計画的部下育成 ・目標による管理とO J T ・日常の部下指導の基本 ・マニュアル育成法 ・質問力を磨こう ・信頼関係を築く聴き方 ・意欲を引き出す接し方 ・O J Tの実践に向けて
合 計	11.5	

◇研修日程

9:30 9:45 10:00			12:30 13:30			16:30	
1 日目	受付	開講	講義・演習		講義・演習		
2 日目	講義・演習				講義・演習		閉講

◇携 行 品 筆記用具、職場で使用している名札

◇講 師 （一財）公共経営研究機構 講師 江上 範博 氏

昨年度受講者の声

◆人材育成について、日常のやりとりの中でできることを学ばせていただきましたが、その前に自分を知る、自分を律することが大事だと思いました。

生成AI活用研修

集 合

◇ね ら い 生成 AI の基本的な仕組みと活用方法を理解し、業務の生産性向上や付加価値創出につなげる力を身につけることを目的とする。さらに、効果的なプロンプトの書き方を体験的に習得し、生成 AI の様々な活用事例を通じて、実務への応用イメージを具体的につかむことをねらいとする。

◇特 徴 生成 AI を実務で安全かつ効果的に活用できるよう、具体的な事例を紹介し、グループワークを通じて生成 AI の使い方を体験的に学ぶとともに生成 AI を導入する上でのリスク管理の考え方を学ぶことができる。

◇対 象 者 生成 AI の基礎的な理解と活用方法の習得を必要とする職員
各回：30 名程度

◇実施期間 第 1 回 令和 8 年 7 月 22 日（水） 第 2 回 令和 8 年 7 月 23 日（木）
第 3 回 令和 8 年 11 月 25 日（水） 第 4 回 令和 8 年 11 月 26 日（木）
※各回同一内容で実施します。

◇会 場 第 1 回、第 3 回、第 4 回 新潟県自治会館本館 201 会議室(2 階)（新潟市）
第 2 回 和同新産センタービル 大会議室(2 階)（長岡市）

◇科目及び時間等

科 目	時間	目標・内容・期待効果
講義・演習	5.5	・生成 AI とは (生成 AI とは AI の基本技術 行政での活用事例) ・AI 活用の注意点 (生成 AI のリスク AI 倫理と著作権 情報漏洩リスクを理解する 自組織の活用範囲を考える) ・AI 活用の基本 (使い方の基本 プロンプトの書き方 生成 AI の限界 さまざまな AI 活用) ・自身の AI 活用を考える (AI を活用したい場面を考える 効果的なプロンプトを考える 自身の仕事の未来を考える)
合 計	5.5	

◇研修日程

9:30	9:45	10:00	12:30	13:30	16:30
受付	開講	講義・演習		講義・演習	閉講

◇携 行 品 筆記用具 職場で使用している名札

※ 本研修は PC を用いた実習形式で行います。PC は当研修所が準備しますので、持参する必要はありません。

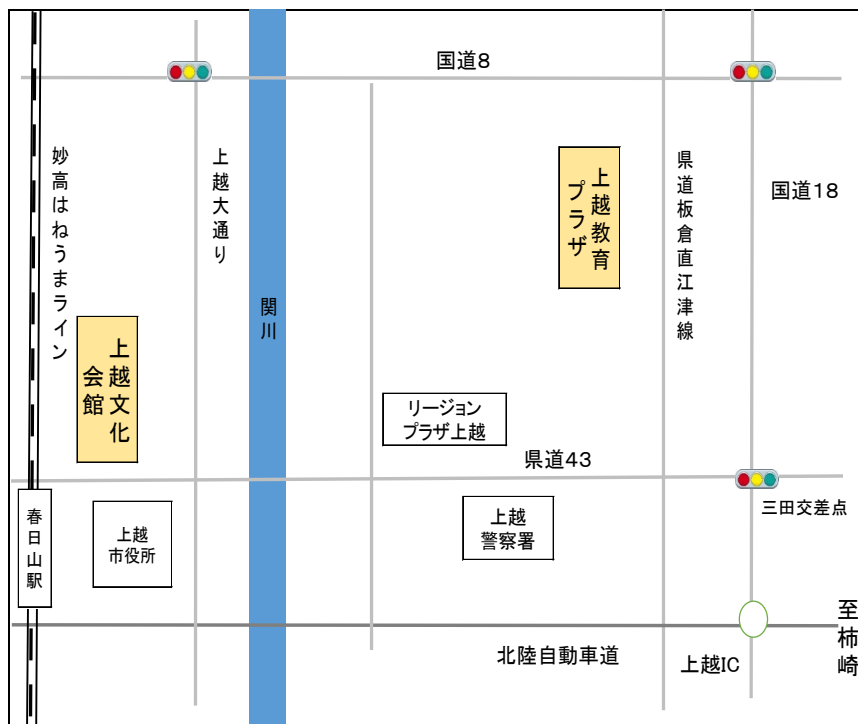
◇講 師 (株) 自然総研 講師 亀田 峻宣 氏、角口 真代 氏

Ⅲ 研修案内

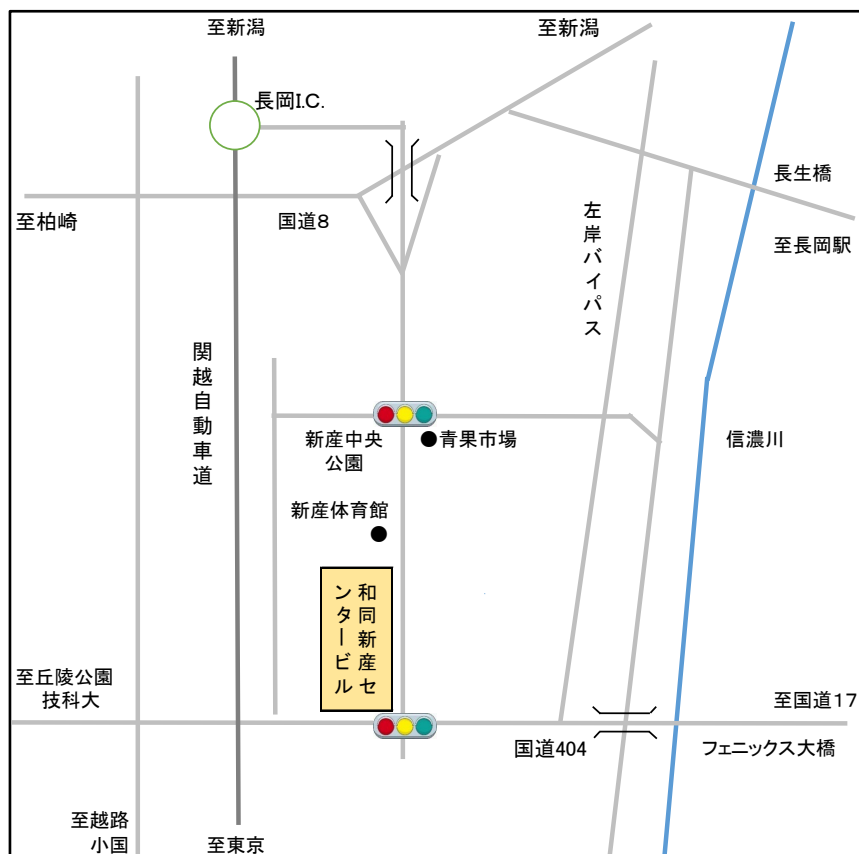
Ⅲ 研修案内

1 研修会場等案内

- (1) 上越市教育プラザ 住所：上越市下門前 1770
 (2) 上越文化会館 住所：上越市新光町 1-9-10

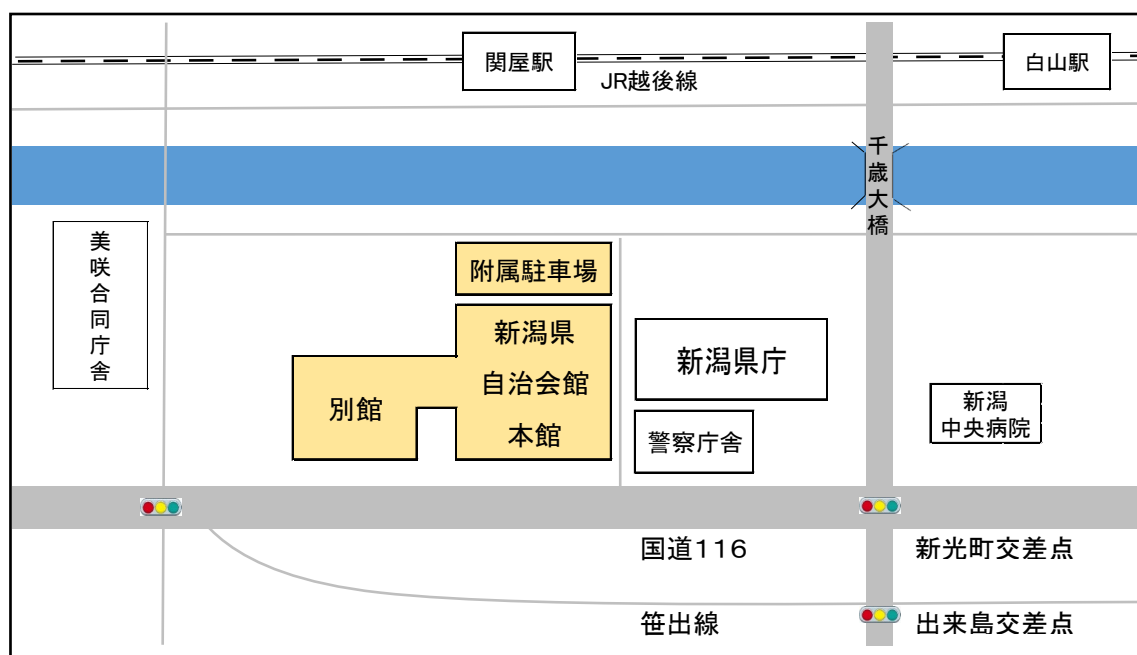


- (3) 和同新産センタービル
 住所：長岡市新産 2-1-4



(4) 新潟県自治会館

住所：新潟市中央区新光町 4-1、7-1



① 休憩室の案内

新潟県自治会館別館 2 階



利用時間 9 : 30 ~ 16 : 30

② 自治会館食堂「キッチンひかり」の案内
新潟県自治会館別館 1 階



営業時間 昼 11 : 30 ~ 13 : 30

③ 自治会館附属駐車場の案内

■ご利用料金

令和8年4月1日現在

平日	入庫から30分まで無料 その後30分毎に	100円
	利用開始から出庫まで1日の料金上限は	500円
休日	入庫から60分まで無料 その後60分毎に	100円
	利用開始から出庫まで1日の料金上限は	300円

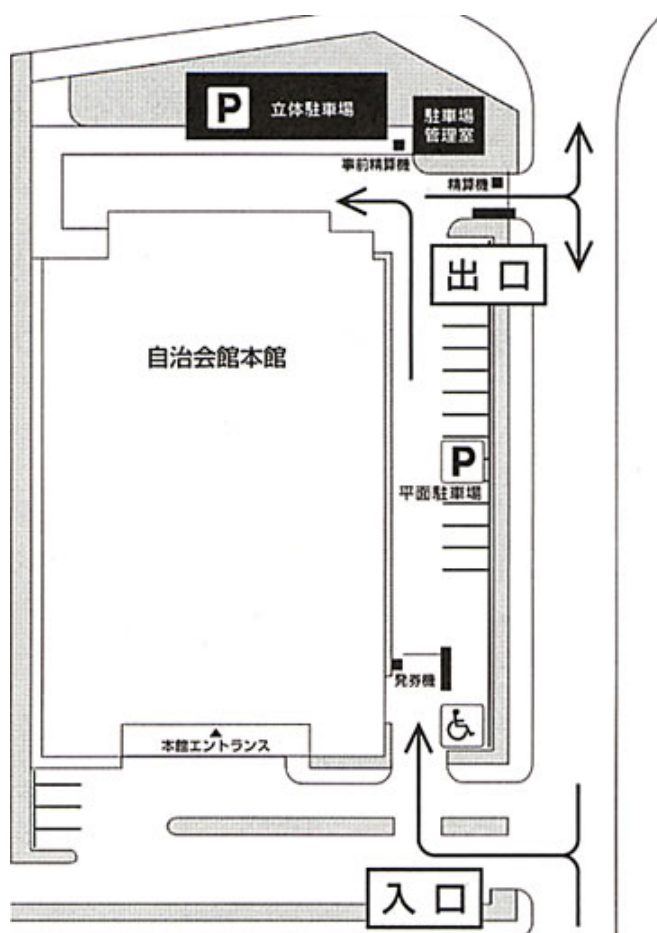
■ご利用時間

利用駐車場	平日	休日	注意
立体駐車場	午前7時30分～ 午後10時30分	閉鎖	終了時刻を超えると次の開始時刻まで出庫できません。
平面駐車場	終日		

■車両収容制限

区分	普通車	ハイルーフ車（収容台数に制限あり）
全 長	5.30m 以下	5.30m 以下
全 幅	1.90m 以下	1.90m 以下
全 高	1.55m 以下	2.05m 以下
全 重 量	2.30t 以下	2.30t 以下
最低地上高	0.1m 以下	0.1m 以上

■ご利用にあたり



- ・ 駐車場は、会議等開催の都合により閉鎖又は会議室利用者の使用可能台数を制限する場合があります。
- ・ 車両収容制限に記載の寸法を超える車両及びハイルーフ車による来館の際は、空車表示となっても駐車をお断りする場合があります。
- ・ 本館玄関前のロータリーは全て駐停車禁止となりますので、車両による来館の際は、構内標識及び係員の指示に従い駐車場に入場してください。
- ・ 当会館の会議室を利用するためにご来館された場合は、県主催会議以外、県庁外来駐車場は使用できません。
- ・ 1日とは、午前7時30分から翌日午前7時30分までをいいます。
- ・ 午前7時30分より前に入庫した場合は、出庫時に1日の上限料金を超えることがあります。

2 留意事項

(1) 事務担当者の留意事項

- 1 職員の研修受講推薦に当たっては、対象者の要件に十分留意してください。特に階層別研修は、対象者の職位、経験年数を十分に確認してください。
- 2 例年、研修受講者が研修実施直前に欠席する例が多数見受けられます。研修の効率的な運営に支障を来し、他の受講者に影響を及ぼす場合もありますので、当該職員が予定どおり受講でき、研修に専念できるように配慮くださるようお願いします。
- 3 研修内容等については、一部変更になる場合があります。
- 4 受講者が研修を欠席したり、研修受講を取り消したりする場合や受講者の変更又は受講回期の変更の必要が生じた場合には、速やかにその旨を連絡してください。
- 5 受講者のテキスト、携行品等
 - (1) テキスト等教材
研修初日に配布します。
 - (2) 携行品等
本計画書に研修ごとに記載してありますので、受講者に周知をお願いします。
 - (3) その他
法律書等の携行品は、本計画書で指定したものを受講者が持参しない場合、受講者本人が研修に支障を来すだけでなく、他の受講者に影響を及ぼすこともありますので、必ず持参するよう周知をお願いします。
- 6 名札の持参
当研修所では、受講者用の名札は作製していませんので、受講者には所属所で使用している名札を持参するように周知徹底をお願いします(オンライン研修を除きます。)
- 7 連絡先
新潟県市町村職員研修所（新潟県市町村総合事務組合）
〒950 - 0965
新潟市中央区新光町 4 番地 1 新潟県自治会館内
TEL : 025-284-4156 FAX : 025-284-4175
電子メール: jinji@sinsogo.jp

(2) 受講者の留意事項

研修は、地方公務員として必要な知識、技能の習得及び全体の奉仕者としてふさわしい教養を高め、地方自治の円滑な運営に資することを目的とするものです。

充実した研修にするため、研修中は、節度と良識ある行動をするようにしてください。

- 1 健康管理に十分注意し、体調が悪くなったときは研修担当に連絡してください。
- 2 節度ある服装を心がけてください（上着及びネクタイの着用は任意）。
- 3 研修中は持参した名札（所属で使用している名札）を着用してください。
※オンライン研修を除きます。
- 4 出欠は、研修担当が確認します。
 - ・ 欠席、遅刻、早退等をする時は、研修担当に申し出てください。
 - ・ その場合、所属市町村に対しても必ず連絡してください。
 - ・ 欠席時間数によっては、修了証書を授与できない場合があります。
- 5 講義中はペットボトル、マイボトル等ふた付き容器の飲料を除き、飲食はできません。
- 6 喫煙所は、研修施設ごとに異なります。担当者の指示に従ってください。
- 7 携帯電話等は電源を切るかマナーモードに設定してください。
講義、演習中の通話は禁止としますが、やむを得ず通話の必要があるときは講師に申し出た上で退室し、研修の妨げとならない場所で通話してください。
- 8 研修を円滑に進めるため、次の役割分担をお願いします。
 - (1) 名簿に「当番」の記載がある方は、次のことをお願いします。
 - ・ 講義終了後にホワイトボードを清掃してください。
 - ・ 休憩時間に出入口ドアを開放してください。
 - (2) 名簿に「号令」の記載がある方は、講義開始・終了時に「起立、礼、着席」の号令をお願いします。
- 9 研修テキストなどの携行品は、毎日持ち帰ってください。

10 研修をより良いものとするため、アンケートの記入・提出にご協力ください。
(閉講式前に記入時間を設けます。)

11 研修担当連絡先

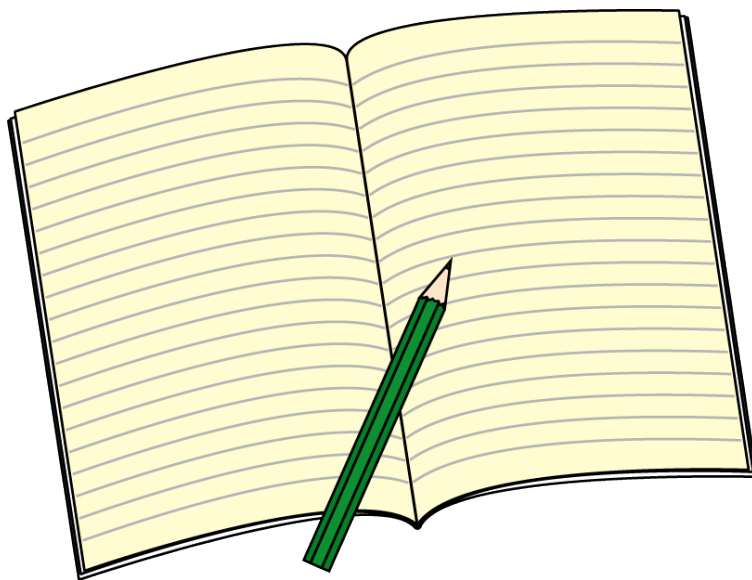
新潟県市町村職員研修所（新潟県市町村総合事務組合）

〒950 - 0965

新潟市中央区新光町 4 番地 1 新潟県自治会館内

TEL : 025-284-4156 (内線 2115) FAX : 025-284-4175

電子メール: jinji@sinsogo.jp



IV 研修ビデオ教材

IV 研修ビデオ教材

1 ビデオ教材の一覧

番号	分類	タイトル	内容	時間 (分)	VHS DVD	制作
1	新採用 職員向け	新入社員研修 君は「成果」を出せるか めざせ！ハイパフォーマンス 第2巻 こうすれば「成果」は出せる！	どのように成果を生み出していけばいいのか、コンピテンシーをいかに発揮すればよいかを紹介。成果志向の高いビジネスパーソンへ成長していく基礎を醸成する。	25	VHS	PHP研究所
2	管理 監督者向け	人事考課の進め方 評価者のエラーを防ぐチェックポイント	人事考課とはマネジメント。その本質を知らずに、信頼される評価を下すことはできない。人事考課の持つ意義、目的、評価者の役割といった必須知識と評価の際に陥りやすいエラーを10項目に整理して解説する。	25	VHS	日本経済新聞社
3		【ケーススタディ】 部下を伸ばすコーチング 第1巻 信じて、認めて、 任せてみる	従来型のマネジメントとコーチングはどこが異なるのか、コーチングはなぜ必要なのかを紹介し、その基本的な心得とポイントを解説する。	30	VHS	PHP研究所
4		【ケーススタディ】 部下を伸ばすコーチング 第2巻 部下の問題解決を 援助する	さまざまな問題を抱える部下をいかに指導していくか。具体的なケースを通して紹介。コーチングの初歩的なスキルを身に付けることができる。	30	VHS	PHP研究所
5		【ケーススタディ】 部下を伸ばすコーチング 第3巻 自ら伸びる部下に 育てる	部下の仕事をレベルアップさせ、ワンランク上の仕事ができるように指導していくポイントを、ケースを通して紹介。さらなるコーチングスキルのアップを促す。	30	VHS	PHP研究所
6		マネージャーのための 危機管理・対応入門 1 危機管理・対応の基本	災害・事故、個人情報漏洩、コンプライアンストラブル。危機管理マインドの醸成は、経営者や専門部門だけでなく、すべての管理者に不可欠なものになってきた。危機を予防し、初動で失敗しないためのポイントを解説する。	25	VHS	日本経済新聞社
7		マネージャーのための 危機管理・対応入門 2 【予防・対応演習】危機管理 PART 1	管理者は、どんな組織にも潜む「危機の芽」に対して、どのように眼を凝らすべきか。3つのケースドラマから、危機予防・対応の実践を学んでいく。	25	VHS	日本経済新聞社
8		ケースで学ぶ セクハラ・ハラスメント対応 問題が起きたらどうするか？	セクハラ訴訟が提起されたとき使用者責任が問われるか否かは日常のセクハラ対策への取り組み、苦情・相談への管理者の対応次第。法律が企業・管理者に要求する雇用管理上の配慮義務の実践を具体的な事例とともに解説する。	30	VHS	日本経済新聞社
9		裁判から学ぶ パワーハラスメント判例集 職場のパワハラをエスカレート させないために	職場で起きたパワハラが、訴訟事件にまで発展してしまった例を紹介して、パワハラの実態を改めて注意喚起する。職員が行き過ぎた指導や心ない言動をエスカレートさせないために、自分自身の言動を振り返ることができ、また、周囲もパワハラの実態を見つけることができるようになる。	25	DVD	自己啓発協会
10		目標管理のための「面談の進め方」 人材育成につなげる正しい活用 法	目標管理を効果的に運用し、セルフ・マネジメント型人材の育成につなげる目標設定・評価面談のノウハウ	75	DVD	日本経済新聞社

番号	分類	タイトル	内容	時間 (分)	VHS DVD	制作
11	ビジネス マナー	親しまれる公務員の接遇 第1巻 面接対応の基本	面接に関するさまざまな事例などを通じて、どのような対応が望ましいかを確認し、体得するために必須の教材。実際の職場において公務員としての親しまれる接遇態度が自然にとれるよう配慮。	22	VHS	公務研修 協議会
12		親しまれる公務員の接遇 第2巻 電話対応の基本	電話・文書に関するさまざまな事例を通じて、どのような対応が望ましいかを確認し、体得するために必須の教材。実際の職場において公務員としての親しまれる接遇態度が自然にとれるよう配慮。	22	VHS	公務研修 協議会
13		ビジネスマナー・バイブル 1 「身だしなみと挨拶」	新入社員はしっかりと。若手社員はもう一度。中堅社員は部下・後輩の指導に。ビジネスの常識から、仕事の上手なやり方まで、「仕事の基本」がこれで身につく。 ・電子メール、携帯電話、個人情報などにも対応 ・やりがちなマナー違反をNGとOKのドラマで解説 ・先輩や上司に聞きにくい疑問に答えるQ&Aコーナー ・レッスンごとにチェックポイントを設けて学習内容を確認 ・新入社員、若手社員と同じ目線でビジネスマナーを指南	44	DVD	プレジデ ント社
14		ビジネスマナー・バイブル 2 「仕事の優先順位と報・連・相」		51	DVD	プレジデ ント社
15		ビジネスマナー・バイブル 3 「相手の心をつかむ 来客対応&訪問」		42	DVD	プレジデ ント社
16		ビジネスマナー・バイブル 4 「電話対応のコツとビ ジネス文書」		42	DVD	プレジデ ント社
17		ビジネスマナー・バイブル 5 「ミス&トラブルの対処 法」		36	DVD	プレジデ ント社
18	公務員倫理	公務員倫理 第1部 日曜日のロックバンド	休日に料金をとってロックバンド演奏を行っている山田君の行動の是非。兼業許可をとる必要は？兼業許可制度の意義は？など討議、検討することで、公務員の服務一般も考察。さらに、プロ意識、主体性など積極面にも言及。	25	VHS	公務研修 協議会
19		公務員倫理 第2部 割り勘のつもりが	業者行きつけの小料理屋での飲食の問題。業者との同伴は？友人と行くのは？割り勘となっているが？など松田君の行動の討議、検討により、モラルの側面から公務員倫理のあり方を考察。	15	VHS	公務研修 協議会
20		汚職等防止研修用ビデオ 第1話 ある新人職員の戸惑い ～コミュニケーション・チーム ワークの向上～	新人職員の都築はある企画の資料作成を任されるが、コミュニケーションとチームワークの不足が情報の共有化を妨げ、都築の企画提案もスムーズに流れない。	12	VHS	東京都職 員研修所
21		汚職等防止研修用ビデオ 第2話 ある新任係長の疑問 ～より良い仕事（サービ ス）をより早く・より安く～	新任係長の村瀬は、職場全体にルーズな空気を感じていた。係内検討会、職場での話し合いを通じ係員1人ひとりに自分の役割と仕事の意義を自覚させていく。	15	VHS	東京都職 員研修所
22		汚職等防止研修用ビデオ 第3話 あるベテラン課長補佐 の不安 ～職員のレベルとモラル の向上～	ベテラン課長補佐の徳永は、職場の和気あいあいとした明るさの中にも馴れ合いの雰囲気があり、以前から漠然とした不安を抱いていた。業者からのアプローチも付け届け、食事への誘いなどの形で日常的に試みられている。	15	VHS	東京都職 員研修所

番号	分類	タイトル	内容	時間 (分)	VHS DVD	制作
23	公務員倫理	魅力ある職員、喜ばれる職員 第5巻 私たちの使命と役割	企業人である曾我さんと公務員の藤山さんの対話により「公正に職務を執行する」「公益を実現する」「信頼され、信頼に応える」ことの大切さを理解する。	22	VHS	PHP研究所
24		魅力ある職員、喜ばれる職員 第6巻 これが汚職・非行・不正の芽	「公務員としての自覚」「放置してはいけない収賄への落とし穴」「悪いことはしていないはず」「兼業」についてミニコンで分かりやすく紹介。	30	VHS	PHP研究所
25		公務員倫理研修 信頼－国民の期待に応えて－	たまたま役所に用があった恩師の小林教授に昼食を誘われた公務員2年目の鈴木君は、大学の同級生で別の役所に勤める佐藤さんにも声をかけた。3人の会話を軸に「公務員のあり方」「国民からの信頼」をめぐって様々な事例をとりあげる。	20	VHS	公務研修協議会
26		公務員倫理研修ビデオ 破滅への道程	近年の地方公共団体等による汚職事件の判例を参考に、どこの職場でも有りうる様々なシチュエーションにフィクションを加えたドラマ形式で構成されている。	30	VHS	公務研修協議会
27		信頼される公務員 モラル・倫理編	近年の公務員のモラル・倫理に関する不祥事を踏まえて、公務員のあるべき姿を明確に教える内容。付属のシート記入とDVD視聴を組み合わせると効果的な教育ができる。活用の手引き付き。 ①住民の視線は厳しい ②自分に厳しくあれ ③公私を混同しない ④公務員として誇りを持つ	44	DVD	PHP研究所
28		公務員の不祥事防止シリーズ 「酒」で人生棒にふるべからず！	飲み過ぎると、普段押さえていた本能がむきだしになり、普段では考えられない行為をしてしまうことがある。法律と医学の専門家が、豊富な事例をもとに実践的にアドバイス。 ・代償は余りにも大きい/身につけたい「酒」とのつきあい方 ・社会人としての責任ある行動とは 他	20	DVD	アスパクリエイト
29		公務員の不祥事防止シリーズ 「借金」で人生棒にふるべからず！	詐欺や横領・着服などの重大犯罪の多くは、「借金」でがんじがらめになった果てに…という場合が非常に多い。法律と医学の専門家が、豊富な事例をもとに実践的にアドバイス。 ・誰でも初めは数万円から/なぜ借金地獄に/狙われる公務員 ・貸す側の論理/なりふり構わぬ重大犯罪へ/一人で抱えず相談を他	20	DVD	アスパクリエイト
30		公務員の不祥事防止シリーズ 「犯罪」で人生棒にふるべからず！	痴漢行為や買春、覚醒剤の使用などで摘発された公務員の多くは、「ストレスが高じて」「興味本位で」といった言い訳を繰り返す。法律と医学の専門家が、豊富な事例をもとに実践的にアドバイス。 ・痴漢、盗撮、少女買春、ストーカー ・覚醒剤、ドラッグ、万引、窃盗 他	20	DVD	アスパクリエイト
31		組織と個人を守る！ 階層別コンプライアンスシリーズ 第5巻 公務員編	公務員が日々の業務で起こしやすいコンプライアンス違反事例を紹介し、不祥事を起こさないために気を付けるポイントを解説。	23	DVD	日本経済新聞社

番号	分類	タイトル	内容	時間 (分)	VHS DVD	制作
32	スキルアップ	15分でわかるシリーズ タイムマネジメントの基本	言葉では知っていても、いざ実践となると「どう進めていいのかわからない」のがタイムマネジメント。ビジネス人として知っておきたい時間管理の「コツ」を解説。	15	VHS	日本経済新聞社
33		15分でわかるシリーズ 書類整理の基本	散らかった机は、美観だけでなく業務効率も損なう。効率的な仕事は、まずは机周りの整理から。増え続ける書類の整理法、職場の共有書類や電子データの取り扱い方法を解説。	15	VHS	日本経済新聞社
34		できる社員の仕事術 成果を高める 報告・連絡・相談 第2巻 ケースで学ぶ報・連・相	パソコン・携帯電話等が広く普及した現在「報・連・相」は必要ないのか？PHPでは、今こそより人と人とのコミュニケーションを密にし、組織の活性化を図るための「報・連・相」が重要であるとする。若手・中堅社員から管理職まで使える充実した内容。	30	VHS	PHP研究所
35		相手にわかりやすく「教える技術」 1 「教える」ために押さえておきたい基礎知識	部下の教育はどうすればうまくいくのか。言いたいことを分かりやすく伝え、やる気を高めて能力を引き出すための基本を、ミニドラマを交えながら解説。	23	VHS	日本経済新聞社
36		相手にわかりやすく「教える技術」 2 ケースで学ぶ「教える技術」	第1巻で学んだ「教える技術」の基本を、現場でどう活かしていけばいいのか。部下を教育する上でよく起こる問題を3つ取り上げ、ケースドラマを展開。良い対処法を具体的に示し、「教える技術」の実践ポイントを解説。	23	VHS	日本経済新聞社
37		交渉の進め方 －「ウイン・ウイン」による 戦略的問題解決－ 1 交渉とは何か	交渉の成否は交渉者で決まる。対立する利害関係を当事者双方が満足する「ウイン・ウイン」の関係に導くステップとは何か？「駆け引き」を超える理論と手順を解説。	30	VHS	日本経済新聞社
38		交渉の進め方 －「ウイン・ウイン」による 戦略的問題解決－ 2 問題解決型交渉の進め方	難局の打開には徹底したコミュニケーションが重要。予備交渉から戦略の立て方、プレゼンテーション、代替案発言のタイミング、コンフリクトの解消まで実践に即して解説。	30	VHS	日本経済新聞社
39		若手社員のための ビジネス・コミュニケーションの基本 1 コミュニケーション・センスを磨く	上司や取引先とのコミュニケーションが苦手の若手社員のために、あいさつの大切さや笑顔、お辞儀、アイコンタクトなどのノンバーバルコミュニケーションの仕方など、ビジネスコミュニケーションの基本を様々なケースを元に解説。	20	VHS	日本経済新聞社
40		若手社員のための ビジネス・コミュニケーションの基本 2 コミュニケーション・スキルを伸ばす	報告・相談や、説明、人前での話し方など様々なビジネス・シーンで役に立つコミュニケーションの応用編を、ケースドラマを通して解説。	20	VHS	日本経済新聞社
41		これなら完璧！プレゼンテーション 1 プレゼンテーションの基本	プレゼンテーションを成功させるためには、聴衆が誰かを明確にしてプランを作り、説得するための話し方をマスターしなければならない。そのための基本を解説。	20	VHS	日本経済新聞社

番号	分類	タイトル	内容	時間 (分)	VHS DVD	制作
42	スキルアップ	これなら完璧！プレゼンテーション 2 説得するテクニック	プレゼンテーションを成功させるための画面構成から質疑応答の進め方まで、あらゆるビジネスの場で必要となるプレゼンテーションの技術を解説。	20	VHS	日本経済新聞社
43		実戦！ビジネス・ディベート 1 ディベートの仕組みと進め方	交渉力やプレゼンテーション能力を高めるディベートによるトレーニング。その教育効果やビジネス・ディベートに必要な仕組みや進行方法を分かりやすく解説。	30	VHS	日本経済新聞社
44		実戦！ビジネス・ディベート 2 ケースで学ぶディベートの技法	説得力・表現力、柔軟な思考力、問題解決力—これらの能力を高めるビジネス・ディベートのポイントをケーススタディのモデル・ディベートで具体的に解説。	30	VHS	日本経済新聞社
45		実践！クレーム対応のすべて 1 経営課題としてのクレーム対応	一つ対応を間違えると、企業に大きなダメージを与えるクレーム。クレームを重要な経営課題として位置づけ、クレームの種類から「なぜ起きるのか？」まで基礎知識を解説。	20	VHS	日本経済新聞社
46		実践！クレーム対応のすべて 2 クレーム対応の基本	クレームが発生したら速やかに対応して、貴重な顧客情報として活用する。顧客のタイプ別対応から電話、手紙、電子メールといった入り方別の対応まで効果的な対応法を解説。	20	VHS	日本経済新聞社
47		実践！クレーム対応のすべて 3 クレーム対応のシステムづくり	クレームを受けたら情報を分析し、改善、再発防止を実現する効率的なシステムとは？第一線の企業のケースを紹介しながら最も効果のあがるシステムの作り方を詳細に解説。	20	VHS	日本経済新聞社
48		納税交渉のABC —滞納整理実務の手引き— 1 新任職員の誠意と冷静な対応	新任職員や実務経験の浅い職員の能力向上・戦力強化を図ることを目的とし具体的な事例を基に実務に即した実践的な指導を目指す。	34	VHS	アスパ株式会社
49		納税交渉のABC —滞納整理実務の手引き— 2 徹底した情報収集・毅然とした態度		29	VHS	アスパ株式会社
50		面接試験官研修用ビデオ 面接試験	第一部では、3人の試験官の望ましくない質問や態度を集中的に、誇張して表現し、第二部では通常の面接場面を示している。この比較により言葉遣い、態度、雰囲気等で試験官の印象が変わること、質問の仕方の改善で受験者の人柄を深く把握できることが良く分かる。	27	VHS	日本人事試験研究センター
51		面接試験官研修用ビデオ 人物評価	面接場面と協議場面から構成され、面接場面は通常の面接の例、適切な質問のしかたの例として示している。協議場面は、「不適切な評価のしかた」と「適切な評価のしかた」で構成され、両者の対比を通して評価技法の理解が深まる。	30	VHS	日本人事試験研究センター
52		面接試験官研修用DVD 新版・面接試験	公務員等の採用試験において面接試験官を務められる方々に対する事前研修用の教材。 面接試験の実施に重要な、受験者への質問の仕方と評定・判定について、試験官の技法の向上に資するよう解説。	30	DVD	日本人事試験研究センター

番号	分類	タイトル	内容	時間 (分)	VHS DVD	制作
53	スキル アップ	面接試験官研修用DVD 新版・面接試験Ⅱ どうする?! 人物評価	第1部 標準的な面接場面 第2部 評価の意見交換(試験官が評価をまとめるための議論の場面) という構成で、コンピテンシー評価型を意識した議論の構成を取り入れている。	35	DVD	日本人事 試験研究 センター
54		面接試験官研修用DVD 新版・面接試験Ⅲ 3つの面接事例で学ぶ評価 のポイントと技法	面接試験の実施のうえで最も難しいとされる受験者の評価の仕方を学ぶ。 特徴のある3人の受験者について、それぞれ ○面接場面 ○その評価についての解説場面 という構成となっている。	90	DVD	日本人事 試験研究 センター
55		プロインストラクター養成ビデオ シリーズ ガイダンスビデオ	職場の中で、特に教育・訓練に関係のある仕事に携わる人たちが共通に知っていなければならない基本的な事柄を収録。	22	VHS	日本能率 協会マネ ジメント センター
56		プロインストラクター養成ビデオ シリーズ 1 効果的な講義の進め方		47	VHS	日本能率 協会マネ ジメント センター
57		プロインストラクター養成ビデオ シリーズ 2 デモンストレーションと ロールプレイング		35	VHS	日本能率 協会マネ ジメント センター
58		プロインストラクター養成ビデオ シリーズ 3 討議法(ブレインストーミ ングとバランスシート法)		22	VHS	日本能率 協会マネ ジメント センター
59		プロインストラクター養成ビデオ シリーズ 4 ツール(訓練補助具)と 教育・訓練環境		38	VHS	日本能率 協会マネ ジメント センター
60		プロインストラクター養成ビデオ シリーズ 5 研修実施上の留意点		38	VHS	日本能率 協会マネ ジメント センター
61		プロインストラクター養成ビデオ シリーズ 6 話し方のポイントと 質問の種類・使い方		40	VHS	日本能率 協会マネ ジメント センター
62		プロインストラクター養成ビデオ シリーズ 7 ベテラン講師はこうして る~信頼されるインストラクター になるために~		47	VHS	日本能率 協会マネ ジメント センター

番号	分類	タイトル	内容	時間 (分)	VHS DVD	制作
63	スキルアップ	プロインストラクター養成ビデオシリーズ 8 こんな講師は嫌われる ～インストラクタータブー集～	職場の中で、特に教育・訓練に関係のある仕事に携わる人たちが共通に知っていただかなければならない基本的な事柄を収録。	24	VHS	日本能率協会マネジメントセンター
64		プロインストラクター養成ビデオシリーズ 9 ゲームの活用とグループの作り方・動かし方		39	VHS	日本能率協会マネジメントセンター
65		研修インストラクター養成講座 ベーシック	新任や経験の浅いインストラクター向けの基本的な内容で、インストラクターとしての使命と役割を学べます。具体的な研修のノウハウや進め方を学ぶ。	40	DVD	PHP研究所
66		改正行政不服審査法 審査手続研修キット	事例を通して審査手続の流れと実務のポイントを、DVDと研修テキスト、豊富な資料集で分かりやすく学べる。	90	DVD	第一法規
67		カスタマーハラスメント 第2巻 公務職場のカスタマーハラスメント対策	行政窓口でのトラブル事例を基に、ドラマ形式のケーススタディを通じて初期対応や上司の介入、予防策といった組織的に身を守るための実践的な手法を解説した教材です。	33	DVD	アスパクリエイト
68	健康管理	衛生管理者の役割 -事務職場編-	健康な労働の場を作り、労働者のより高い健康状態を確保するという労働衛生管理の目標を、作業環境管理、作業管理、健康管理の3管理を中心にイラストも交えわかりやすく解説。	20	VHS	地方公務員安全衛生推進協会
69		職場におけるメンタルヘルス 第1巻 管理監督者編 職場守護神！ストレスから部下を守れ	管理監督者自身が悪い意味で部下のストレス源になっていないか？ストレスに苦しんでいる部下に気づかずにいないか？気づいてもどう対応していいのか？ストレスに強い部下を育てるにはどのようなことを心掛ければいいのか、事例を挙げて具体的に紹介。	30	VHS/ DVD	日本人事行政研究所
70		職場におけるメンタルヘルス 第2巻 職員個人編 先手必勝！ストップ・ザ・ストレス	ストレスに押しつぶされたくない、ストップさせたい。その鍵はプラス思考で物事を考え行動することにある。ちょっとした発想の転換とその行動が自分自身を守ってくれる。職場や仕事上で起こる出来事に対してどのような受け止め方をするか、どのような行動がストレスを封じ込め、ストップさせることができるか具体的に紹介。	30	VHS/ DVD	日本人事行政研究所
71		新・職場のメンタルヘルス 1 自殺予防編 心の危険信号見落としていませんか？-事業者責任と心の健康-	発見が遅れると「自殺」にまで及んでしまうことがある“うつ病”。それに気づくことの重要性とは？職場環境のあり方とは？職場での例や、民事訴訟の事例を織りまぜ解りやすく解説。	20	DVD	自己啓発協会
72		新・職場のメンタルヘルス 2 職場復帰編 スムーズな職場復帰のために -職場復帰のノウハウと注意点-	あなたの課に休職していた部下が復帰（配属）することになった。どのような対応・配慮が必要か。そのポイントを解りやすく整理し、解説。	17	DVD	自己啓発協会

番号	分類	タイトル	内容	時間 (分)	VHS DVD	制作
73	健康管理	新・職場のメンタルヘルス 3 過重労働対策編 過重労働とメンタルヘルス	メンタルヘルスに大きな影響を与える過重労働を防ぐために、管理監督者は、どのような部下管理をこころがけるべきか。	18	DVD	自己啓発協会
74		メンタルヘルス新世紀Ⅱ ～心の健康問題を抱える若手社員にどう対応するか～	近年、今までのうつ病とは明らかに違うタイプの症例が報告されています。仕事中に不安症状やうつ症状がでるものの、一旦職場から離れると気分が回復する。マスコミでも俗称「新型うつ病」の呼び名で取り上げられ、話題を集めていますが、周囲がどう対応すべきか、統一的な見解はまだない。 本教材は、このような症例に対して、管理者はどう対応すべきか、また日頃からどのようなことに気をつけるべきかを、正面から取り上げた。メンタルヘルス対策の原点に立ち返り、管理者が業務を通して、日頃から部下との間に信頼関係を築くことの大切さを説く。	34	DVD	自己啓発協会
75	ハラスメント防止	なくそうパワーハラスメント しない、させないパワーハラスメント	公的機関への「職場のいじめ」の相談件数が増大している昨今、もはや、自分だけは大丈夫、では済まされないパワーハラスメント問題。では、どのような言動がパワハラとみなされるのか、また、上司と部下はお互いのコミュニケーションでどのような点に気をつけなければならないのか、事例を基に解説。	25	DVD	自己啓発協会
76		なくそうパワーハラスメント 管理職のためのパワハラを起こさない職場づくり	ひとたび職場に起こると、被害を受けた本人だけでなく、職場全体の士気に影響し、生産性の低下も招くパワーハラスメント。また、訴訟にまでなると企業のイメージ低下は避けられない。パワハラ上司にならないための手法を、セルフチェックリストとアサーションを用いて、ケースで紹介。	25	DVD	自己啓発協会
77		ハラスメント相談窓口の適切な対応	男女雇用機会均等法によりセクハラ相談窓口の設置が義務付けられ、企業や官公庁に定着している。しかし、相談者に対して不適切な対応をしたことが、訴訟事件で明るみになるケースもある。組織としてその防止のため、繰り返して教育・研修を行う必要があります。 また、以前はセクハラについての相談だけでしたが、パワハラ認知度が高まり相談件数も増えている。 セクハラ編とパワハラ編の二部で構成し、それぞれ相談者と行為者（加害者）のヒアリング場面をドラマで描く。	54	DVD	自己啓発協会
78		階層・職種別パワー・ハラスメントシリーズ 第1巻 新入社員・若手社員編	新入社員・若手社員編ではパワハラの正しい知識とパワハラを受けないための行動と心構えを解説。	26	DVD	日本経済新聞出版社
79		階層・職種別パワー・ハラスメントシリーズ 第2巻 中堅社員・管理職編	中堅社員・管理職編ではパワハラにならない指導法と部下のパワハラを見逃さない着眼点を解説。	27	DVD	日本経済新聞出版社
80		階層・職種別パワー・ハラスメントシリーズ 第3巻 製造作業現場編	製造・作業現場編ではクイズを交えて現場で起こりがちなパワハラについて学ぶ。	26	DVD	日本経済新聞出版社

番号	分類	タイトル	内容	時間 (分)	VHS DVD	制作
81	ハ ラ ス メ ン ト 防 止	セクシュアル・ハラスメント対策 シリーズ 第1巻 セクハラ防止テスト (全社員向け)	つい分かった気になっているセクハラ の問題をもう一度見つめ直し、理解を深 めるとともに、セクハラが起こらない職 場づくりを進める上でのポイントを解 説、最新のセクハラ対策DVDシリーズ。	36	DVD	日本経済 新聞出版 社
82		セクシュアル・ハラスメント対策 シリーズ 第2巻 セクハラ防止ドラマ (男性社員向け)		25	DVD	日本経済 新聞出版 社
83		セクシュアル・ハラスメント対策 シリーズ 第3巻 セクハラが起こらない 職場作り (管理職・経営層向け)		23	DVD	日本経済 新聞出版 社
84		その人権問題 わたしならどうす る？【会社編】	さまざまな人権問題を通して、もしも 登場人物の立場になったら自分はどの う行動するかを考える、人権学習映像集。セ クシャルハラスメント・パワーハラスメ ント・精神疾患・発達性障害・HIV	45	DVD	株式会社 ドラコ
85		職場のパワハラ対策シリーズ 第1巻 パワハラ対策 オフィ ス基礎編	労働施策総合推進法の改正により法制 化されたパワハラ定義やその典型事例 と、判断に迷いがちな事例を見る。言動 のどこが、なぜパワハラなのかを考え る。	32	DVD	アスパク リエイト
86		職場のパワハラ対策シリーズ 第6巻 パワハラ相談を受け るには～相談員マニュアル～	パワハラ相談に社内相談員が対応す る場合を想定した相談の受け方、相談を 受ける際の注意点(2次被害)などにつ いて、分かりやすく解説しています。	22	DVD	アスパク リエイト
87		出産・育児への理解がない ～職場のマタニティ・ハラスメ ントを防ぐ～	ある会社のマタニティ・ハラスメント に関する相談事例を例とし、マタハラを 正しく認識し、全ての女性が安心して妊 娠、出産、子育てをしながら働き続け ることができるよう、意識改革や職場づ くりの重要性を説く。	26	DVD	映学社
88	組 織 風 土 改 革	シン・職場のハラスメント 分かったつもりが危険！ 第1巻 パワーハラスメント編 ～その言動、なぜパワハラ？～	職場の人間関係やコミュニケーション のあり方と共に形を変えてきた職場のハ ラスメント。「もうパワハラ対策は十 分」という声も聞こえてきますが、被害 を訴える声は高止まりしています。この シリーズは、被害者の心の声を事例に組 み込み、「分かったつもり」の間違いへ の気づきを促し、ハラスメントの認識 を見直すことを目的とした教材です。	21	DVD	アスパク リエイト
89		DO IT! 育てよ！社員の豊かな心！ ～価格競争を乗り越えろ！ 全社で挑む「心の経営」～	新潟県経営品質賞を受賞した注目の県 内企業株式会社タカヨシ(総合印刷会 社)の経営、心の教育を学ぶ。 価格競争に勝つには、価格以外の価 値、「信用・信頼・安心」の提供しか ない！躍進の理由には技術はもちろん、社 員の「豊かな心」を育てる人づくりがあ る。	40	DVD	株式会社 ブロック ス

番号	分類	タイトル	内容	時間 (分)	VHS DVD	制作
90	組織 風土 改革	DO IT! 感動伝説を生むサービス! ザ・リッツ・カールトン 大阪の取組み 前編・後編 超一流ホテルに学ぶ CSとエンパワーメント	・理念、哲学、行動指針が一枚に凝縮! リッツの総てのカギ「クレド・カード」 ・NOを言わない、後回しにしない! その場で判断、「エンパワーメント」 パワー。 ・高め合う! 思いやり、信念、感謝の心 「社員は内部顧客」の理念と風土づくり。	各45	DVD	株式会社 ブックス
91		DO IT! 輝く職場、輝く心がつくる究極 のサービス 川越胃腸病院の取組み 前編 心をひとつに 患者様満足を追求する 後編 社員のやりがい育て る人づくり	・患者様の感動を呼ぶ、温かな人間力 サービス! ・来院者の99%が満足! 20年間継続する CSの仕組みと効果 ・組織の壁を超越する、感動のチーム プレー!	各45	DVD	株式会社 ブックス
92		DO IT! 仕事の原点 第1巻 おもてなしの心	・DOITシリーズ92巻、延べ70時間以上に 及ぶ収録内容を テーマ別に再編集。 ・1巻に3テーマを収録。勉強会をサ ポートするテキスト付き。 ・心をつなぐ挨拶 ・出会いの瞬間 ・心を配る、心を表す	60	DVD	株式会社 ブックス
93		DO IT! 仕事の原点 第2巻 お客様満足	・DOITシリーズ92巻、延べ70時間以上に 及ぶ収録内容を テーマ別に再編集。 ・1巻に3テーマを収録。勉強会をサ ポートするテキスト付き。 ・お客様に心を寄せる ・高め続けるお 客様満足 ・全員がお客様係	60	DVD	株式会社 ブックス
94		DO IT! 仕事の原点 第3巻 チームワーク	・DOITシリーズ92巻、延べ70時間以上に 及ぶ収録内容を テーマ別に再編集。 ・1巻に3テーマを収録。勉強会をサ ポートするテキスト付き。 ・心をひとつにする ・共に成長を支え 合う ・1人ひとりが主人公	60	DVD	株式会社 ブックス
95		DO IT! 仕事の原点 第4巻 リーダーシップ	・DOITシリーズ92巻、延べ70時間以上に 及ぶ収録内容を テーマ別に再編集。 ・1巻に3テーマを収録。勉強会をサ ポートするテキスト付き。 ・価値観を共有する ・信念を貫く ・ 働く人の幸福を追求する	60	DVD	株式会社 ブックス
96		DO IT! 仕事の原点 第5巻 人づくり	・DOITシリーズ92巻、延べ70時間以上に 及ぶ収録内容を テーマ別に再編集。 ・1巻に3テーマを収録。勉強会をサ ポートするテキスト付き。 ・人づくりは愛 ・心を育てる ・チームリーダーの使命	60	DVD	株式会社 ブックス

番号	分類	タイトル	内容	時間 (分)	VHS DVD	制作
97	個人情報	個人情報保護の常識 1 個人情報保護にどう取り組むか	情報漏洩事件の増加とともに、会社としての取り組みが望まれている個人情報保護。なぜ、今、個人情報なのか？企業を取り巻くプライバシー問題の現状、社会人として備えるべきコンプライアンス・マインドを解説。	30	VHS	日本経済新聞社
98		個人情報保護の常識 2 ケース解説—こんな時どうする？	個人情報の接し方の不備や情報漏洩は企業の信用やイメージの大幅なダウンにつながる。個人情報を取り扱う際に気をつけるべきポイントをケースドラマを交えながら解説。	30	VHS	日本経済新聞社
99	その他	自治体職員研修ビデオ 第1巻 地方自治とはなにか	「地方自治」とは何か？地方自治はなぜ必要なのか？憲法が地方自治のためにわざわざ一章をもうけたのはなぜか？今日的な自治の意義を考えながら、基礎的な知識、制度を学ぶ。	25	VHS	学陽書房
100		自治体職員研修ビデオ 第2巻 いま、自治体職員に求められているもの	いま自治体職員に一番知ってもらいたいこと、自治体の仕事の知的魅力や、やりがい、問題解決への心構えを中心に紹介。	25	VHS	学陽書房

2 ビデオ教材の貸出方法

研修ビデオ教材の貸出を希望する場合は、次のとおり手続をお願いします。職場内研修などに活用してください。

- 1 貸出を希望する教材の貸出状況を電話又はメールにより確認してください。
(電話 025-284-4156 メールアドレス jinji@sinsogo.jp)
- 2 研修ビデオ教材借用依頼(下記様式例を参照)に①教材の名称、②借用期間を記載して提出してください(メールでも可)。
貸出期間は、原則として2週間以内です。
- 3 教材を郵便等で送付します。
- 4 教材の使用が終了したら、郵便等で返送してください。
なお、その際に発生する送料については、負担願います。

○様式例

(当組合ホームページからダウンロードすることもできます。)

<https://ngtsogo.jp/business/training-center/>)

〇〇年〇〇月〇〇日

新潟県市町村職員研修所長 様

〇〇市〇〇課長

研修ビデオ教材の借用について(依頼)

このことについて、下記のとおり研修ビデオ教材の借用を依頼します。

記

1 教材の名称

(1) 〇〇〇〇

(2) 〇〇〇〇

2 借用期間

〇〇年〇〇月〇〇日から〇〇年〇〇月〇〇日まで

○研修ビデオ教材を使用した研修会の進め方（例）

ビデオを視聴するだけでも参考になりますが、下記のように研修会を実施するとより効果が上がります。

1 研修ビデオの視聴

- ・ 参加者全員で視聴します。
- ・ この時、気が付いたことをメモに取ります。

2 感想の発表

- ・ 参加者1人ひとりが、ビデオを見て「気が付いたこと」、「素晴らしいと思ったこと」を発表します。
- ・ 出た意見はホワイトボードなどに書き込みます。

3 ディスカッション

- ・ 多かった意見を中心に、議論を深めていきます。
- ・ 「どこが違うのか？」「なにを取り入れていくべきか？」など、自団体の課題と照らし合わせながら議論を進めます。

4 まとめ

- ・ 情報を整理します。
- ・ 自団体での取組方法や対策をまとめます。
- ・ 全員で確認して、行動に移します。



V 令和 7 年度市町村職員研修実施状況

V 令和7年度市町村職員研修実施状況（当研修所実施分）

1 総括表

研修名		研修期間 (日)	実施回数	予定者数	推薦者数 (A)	修了者数 (B)	受講率 (B/A)	備 考
階 層 別 研 修	新採用職員研修	4	8	370	338	329	97.3%	
	一般職員研修第1部	3	7	261	244	215	88.1%	
	一般職員研修第2部	3	7	248	215	192	89.3%	
	技能労務職員研修 ※隔年実施	2	0	0	0	0		
階層別研修 計			22	879	797	736	92.3%	
専 門 研 修	税務事務基礎研修	3	1	69	75	64	85.3%	
	固定資産税事務基礎研修(課税)	1	1	38	37	36	97.3%	
	固定資産税事務基礎研修(家屋評価 (木造中心))	2	1	33	31	30	96.8%	
	固定資産税事務基礎研修(土地評 価)	2	1	31	31	30	96.8%	
	市町村民税事務基礎研修(個人)	2	1	43	38	33	86.8%	
	市町村民税事務基礎研修(法人)	2	1	32	21	15	71.4%	
	徴収事務基礎研修	2	1	40	34	31	91.2%	
	財務事務基礎研修	2	1	41	26	23	88.5%	
	契約事務基礎研修	2	1	42	37	31	83.8%	
	簿記基礎研修	1	1	24	24	22	91.7%	
	地方公会計事務基礎研修	1	1	25	22	19	86.4%	
	給与事務基礎研修	2	1	32	33	28	84.8%	
	人事評価者基礎研修	1	1	35	29	28	96.6%	
	説明力向上研修	1	1	37	35	35	100.0%	
	クレーム対応力向上研修	2	1	28	21	20	95.2%	
	ファシリテーター養成研修	2	1	25	22	20	90.9%	
	保育士・幼稚園教諭のためのコミュニ ケーション力向上研修	1	1	21	17	16	94.1%	
	業務改善研修	1	1	30	28	24	85.7%	
	データ活用力向上研修	1	1	35	30	24	80.0%	
	ハラスメント防止研修	1	1	37	28	23	82.1%	
	民法基礎研修(総則、物権、債権、 家族)	3	1	25	18	13	72.2%	
	法制執務研修	3	1	48	49	41	83.7%	
	ロジカルシンキング研修	2	1	23	21	17	81.0%	
	発想力・企画力向上研修	2	1	26	24	19	79.2%	
	マニュアル作成研修	1	1	34	32	27	84.4%	
	タイムマネジメント研修	1	1	27	31	24	77.4%	
	事務ミス防止研修	1	1	38	28	27	96.4%	
	接遇マナー基礎研修	1	1	31	24	23	95.8%	
	OJT研修	1	1	27	21	18	85.7%	
専 門 研 修 計			29	977	867	761	87.8%	
合 計			51	1,856	1,664	1,497	90.0%	

団 体 名	研 修 名	新採用職 員研修	一般職員 研修第1 部	一般職員 研修第2 部	技能労務 職員研修 隔年実施 (R7は実 施しな い)	税務事務 基礎研修	固定資産 税事務基 礎研修 (課税)	固定資産 税事務基 礎研修 (家屋評 価(木造 中心))
長岡市						3	2	2
上越市			33	47				1
三条市							2	1
柏崎市		24	7	6		10	3	1
新発田市		21	17	21		3	2	2
小千谷市		17	8	5				1
加茂市		8	6	13		4	1	1
十日町市		16	8	17		3	2	1
見附市		4	8	8		5	1	1
村上市		25	11	2		3	2	2
燕市		33	19	8		3	1	2
糸魚川市		12	5	5		1	1	
妙高市		15	3	3		1	1	
五泉市		14	9	9				
佐渡市		17					1	1
阿賀野市		12	21	6		5	1	1
魚沼市		14	10	9		1	2	2
南魚沼市		24	17	8		5	3	4
胎内市		6	6	4		4	2	
市 計		262	188	171	0	51	27	23
聖籠町		7	5	3		2	1	1
弥彦村		6				2	2	2
田上町		11	1	2				
阿賀町		3	4	1		2		
出雲崎町		4	4	3		1	2	1
湯沢町		6	3	4		2	1	1
津南町		7	4	4		3	2	2
刈羽村		1	2	2				
関川村		6				1		
粟島浦村		3					1	
町村 計		54	23	19	0	13	9	7

団 体 名	研 修 名						
	新採用職 員研修	一般職員 研修第1 部	一般職員 研修第2 部	技能労務 職員研修 隔年実施 (R7は実 施しな い)	税務事務 基礎研修	固定資産 税事務基 礎研修 (課税)	固定資産 税事務基 礎研修 (家屋評 価(木造 中心))
三条・燕・西蒲・南蒲広域養護老人ホーム施設組合							
新潟県中越福祉事務組合	1	2					
下越福祉行政組合	3	2	1				
新発田地域広域事務組合	1		1				
十日町地域広域事務組合							
新潟県中東福祉事務組合	3						
五泉地域衛生施設組合							
豊栄郷清掃施設処理組合							
さくら福祉保健事務組合							
西蒲原福祉事務組合	3						
燕・弥彦総合事務組合							
魚沼地区障害福祉組合							
魚沼地域特別養護老人ホーム組合							
津南地域衛生施設組合							
新潟県市町村総合事務組合	2						
一部事務組合等 計	13	4	2	0	0	0	0
総 合 計	329	215	192	0	64	36	30

団 体 名	研 修 名						
	固定資産 税事務基 礎研修 (土地評 価)	市町村民 税事務基 礎研修 (個人)	市町村民 税事務基 礎研修 (法人)	徴収事務 基礎研修	財務事務 基礎研修	契約事務 基礎研修	簿記基礎 研修
長岡市	2	2		2	1	2	1
上越市	1	1	1	2	2	1	
三条市	2	2	2	1	1		
柏崎市	2	3	1	3	2	1	
新発田市	2	2	1	2	2	2	4
小千谷市	1						
加茂市	1	2	2	1	1	2	1
十日町市	1				1		
見附市	1	1	1	2			
村上市	2	2	1	2	1	1	
燕市	1	1	1	2	1	1	
糸魚川市	1	2		2	2	1	
妙高市	2		1	2		1	
五泉市		1		1			
佐渡市	1	2		1			
阿賀野市	2	2	1	2		1	4
魚沼市		2			1	2	2
南魚沼市	3		1	1	1	1	1
胎内市		2	1	2			1
市 計	25	27	14	28	16	16	14
聖籠町		1			2	2	
弥彦村	2	1			1		
田上町							
阿賀町						1	1
出雲崎町	1					2	
湯沢町		1		2			
津南町	2	2	1	1		4	2
刈羽村							1
関川村						1	2
粟島浦村		1				1	1
町村 計	5	6	1	3	3	11	7

団 体 名	研 修 名						
	固定資産 税事務基 礎研修 (土地評 価)	市町村民 税事務基 礎研修 (個人)	市町村民 税事務基 礎研修 (法人)	徴収事務 基礎研修	財務事務 基礎研修	契約事務 基礎研修	簿記基礎 研修
三条・燕・西蒲・南蒲広域養護老人ホーム施設組合							
新潟県中越福祉事務組合						1	
下越福祉行政組合							
新発田地域広域事務組合					2		
十日町地域広域事務組合							
新潟県中東福祉事務組合							
五泉地域衛生施設組合							
豊栄郷清掃施設処理組合							1
さくら福祉保健事務組合							
西蒲原福祉事務組合							
燕・弥彦総合事務組合					2	3	
魚沼地区障害福祉組合							
魚沼地域特別養護老人ホーム組合							
津南地域衛生施設組合							
新潟県市町村総合事務組合							
一部事務組合等 計	0	0	0	0	4	4	1
総 合 計	30	33	15	31	23	31	22

団 体 名	研 修 名						
	地方公会 計 事務基礎 研修	給与事務 基礎研修	人事評価 者基礎研 修	説明力向 上研修	クレーム 対応力向 上研修	ファシリ テーター 養成研修	保育士・ 幼稚園教 諭のため のコミュニ ケーション力向上 研修
長岡市	1	4		1	1	3	3
上越市	1	1					
三条市		3					
柏崎市	1	1		1			2
新発田市	3	2		1		1	2
小千谷市		1					
加茂市	1				1	1	
十日町市		1		2			
見附市	1			1	1		
村上市		2	6	1			3
燕市		2					
糸魚川市		1		2			
妙高市							
五泉市							
佐渡市							
阿賀野市	3	2		5	3	6	
魚沼市	1			4	1		
南魚沼市	1	1		1			4
胎内市			3				
市 計	13	21	9	19	7	11	14
聖籠町	1			3	2	3	
弥彦村		1	1				
田上町							
阿賀町	1	1		1			
出雲崎町				1	2	3	
湯沢町		1	5	2	1	1	1
津南町	1		1				
刈羽村	1	1			1		1
関川村				1			
粟島浦村	1					1	
町村 計	5	4	7	8	6	8	2

団 体 名	研 修 名						
	地方公会 計 事務基礎 研修	給与事務 基礎研修	人事評価 者基礎研 修	説明力向 上研修	クレーム 対応力向 上研修	ファシリ テーター 養成研修	保育士・ 幼稚園教 諭のため のコミュニ ケーション力向上 研修
三条・燕・西蒲・南蒲広域養護老人ホーム施設組合							
新潟県中越福祉事務組合		1	2				
下越福祉行政組合			3	2	2		
新発田地域広域事務組合			2	2	2		
十日町地域広域事務組合		1		1	1		
新潟県中東福祉事務組合							
五泉地域衛生施設組合							
豊栄郷清掃施設処理組合	1						
さくら福祉保健事務組合							
西蒲原福祉事務組合			2	2			
燕・弥彦総合事務組合		1	3	1	1	1	
魚沼地区障害福祉組合					1		
魚沼地域特別養護老人ホーム組合							
津南地域衛生施設組合							
新潟県市町村総合事務組合							
一部事務組合等 計	1	3	12	8	7	1	0
総 合 計	19	28	28	35	20	20	16

団 体 名	研 修 名						
	業務改善 研修	データ活 用力向上 研修	ハラスメ ント防止 研修	民法基礎 研修（総 則、物 権、債 権、家 族）	法制執務 研修	ロジカル シンキン グ研修	発想力・ 企画力向 上研修
長岡市	1			1	1	1	
上越市	1				2		
三条市					1		
柏崎市	1	1	4		1		
新発田市	1	1	1	1	3	1	2
小千谷市			1				
加茂市	1			3	1	1	1
十日町市	2	1			1		
見附市			2				
村上市	1	2			3	1	1
燕市					2		
糸魚川市	1						
妙高市							
五泉市							
佐渡市							
阿賀野市	3	7	6		2	3	4
魚沼市		1		1	2	1	
南魚沼市				2		3	2
胎内市							
市 計	12	13	14	8	19	11	10
聖籠町	3		1	2	5	3	3
弥彦村			2				
田上町							
阿賀町	1	3			4		2
出雲崎町	2	2	2	1	1	1	3
湯沢町	1	1	1			1	
津南町				2	8		
刈羽村	2				1		
関川村	1						
粟島浦村							1
町村 計	10	6	6	5	19	5	9

団 体 名	研 修 名						
	業務改善 研修	データ活 用力向上 研修	ハラスメ ント防止 研修	民法基礎 研修（総 則、物債 権、債権 、家族）	法制執務 研修	ロジカル シンキン グ研修	発想力・ 企画力向 上研修
三条・燕・西蒲・南蒲広域養護老人ホーム施設組合							
新潟県中越福祉事務組合							
下越福祉行政組合			1				
新発田地域広域事務組合		1					
十日町地域広域事務組合	1	1	1		1	1	
新潟県中東福祉事務組合							
五泉地域衛生施設組合					1		
豊栄郷清掃施設処理組合							
さくら福祉保健事務組合			1				
西蒲原福祉事務組合	1						
燕・弥彦総合事務組合		3			1		
魚沼地区障害福祉組合							
魚沼地域特別養護老人ホーム組合							
津南地域衛生施設組合							
新潟県市町村総合事務組合							
一部事務組合等 計	2	5	3	0	3	1	0
総 合 計	24	24	23	13	41	17	19

団 体 名	研 修 名					合 計
	マニユアル作成研修	タイムマネジメント研修	事務ミス防止研修	接遇マナー基礎研修	ＯＪＴ推進研修	
長岡市		2				36
上越市						94
三条市						15
柏崎市	1					76
新発田市	2	4	2	4		112
小千谷市						26
加茂市		1	2		1	57
十日町市						56
見附市	1	1		2	1	42
村上市	1	1	1		1	78
燕市						77
糸魚川市	1	1	1	1		40
妙高市						29
五泉市						34
佐渡市						23
阿賀野市	3		8		4	117
魚沼市	2			1		53
南魚沼市	2	3				75
胎内市						31
市 計	13	13	14	8	7	1,071
聖籠町	2	1	2	2	4	61
弥彦村						20
田上町						14
阿賀町	3	3	4			35
出雲崎町	2	1	2	1		42
湯沢町	1	1	2	1	1	38
津南町				5		51
刈羽村			1		1	15
関川村	3	1		3		19
粟島浦村		1		1		12
町村 計	11	8	11	13	6	307

団 体 名	研 修 名					合 計
	マニュアル作成研修	タイムマネジメント研修	事務ミス防止研修	接遇マナー基礎研修	ＯＪＴ推進研修	
三条・燕・西蒲・南蒲広域養護老人ホーム施設組合						0
新潟県中越福祉事務組合						7
下越福祉行政組合	1				1	16
新発田地域広域事務組合	1			2		14
十日町地域広域事務組合	1	1	1		1	12
新潟県中東福祉事務組合						3
五泉地域衛生施設組合						1
豊栄郷清掃施設処理組合						2
さくら福祉保健事務組合						1
西蒲原福祉事務組合					2	10
燕・弥彦総合事務組合		2				18
魚沼地区障害福祉組合						1
魚沼地域特別養護老人ホーム組合						0
津南地域衛生施設組合						0
新潟県市町村総合事務組合			1		1	4
一部事務組合等 計	3	3	2	2	5	89
総 合 計	27	24	27	23	18	1,467

令和 8 年度 市町村職員研修実施計画
令和 8 年 4 月発行

新潟県市町村職員研修所

新潟県市町村総合事務組合

〒 9 5 0 - 0 9 6 5

新潟県中央区新光町 4 - 1 新潟県自治会館内

TEL 0 2 5 - 2 8 4 - 4 1 5 6

FAX 0 2 5 - 2 8 4 - 4 1 7 5

URL <https://ngtsogo.jp/>

E-mail jinji@sinsogo.jp